

‘17
HAND BOOK
University of Yamanashi
Graduate School of Education

学生便覧
大学院教育学研究科



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

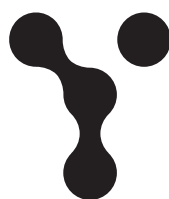
山梨大学

2017

HAND BOOK

University of Yamanashi
Graduate School of Education

学 生 便 覧
大学院教育学研究科



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

山梨大学

目 次

I	学則・諸規程	
1.	山梨大学大学院学則	1
2.	山梨大学学位細則	20
3.	山梨大学大学院教育学研究科規則	24
4.	学位論文に関する細則	31
5.	学位論文執筆要項	33
6.	履修申告に関する細則	34
7.	教育方法の特例による授業科目の履修申告に関する細則	35
8.	山梨大学大学院研究生細則	36
9.	山梨大学大学院科目等履修生細則	38
10.	山梨大学大学院特別研究学生交流細則	40
11.	山梨大学外国人留学生細則	43
II	履修案内	
1.	修了の要件	45
2.	指導教員の届出	45
3.	履修授業科目の届出	45
4.	教育方法の特例	45
5.	教育職員免許状取得基準	46
6.	開設授業科目一覧	89
7.	授業時間割表	100

I 学則・諸規程

1 山梨大学大学院学則

制定	平成16年	4月	1日
改正	平成17年	4月	1日
	平成17年	12月	1日
	平成19年	4月	1日
	平成20年	1月	23日
	平成20年	3月	19日
	平成21年	3月	18日
	平成21年	10月	30日
	平成24年	7月	25日
	平成26年	9月	29日
	平成26年	11月	28日
	平成26年	12月	24日
	平成27年	11月	26日
	平成28年	11月	29日

第1節 総則

(目的及び使命)

第1条 山梨大学大学院(以下「大学院」という。)は、学術の理論及びその応用を教授研究することを目的とし、学術研究を創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人を育成することを使命とする。

- 2 教育学研究科修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とする。
- 3 医工農学総合教育部博士課程は、研究者として自立して研究活動を行うに必要な深い学識と高度な研究能力及び豊かな人間性を備えた優れた研究者の育成を目的とする。
- 4 医工農学総合教育部修士課程は、広い視野に立って、精深な学識を授け、専攻分野における理論と応用の研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とする。
- 5 教育学研究科教職大学院の課程は、地域の学校の課題に即した学校改善・授業改善の構想力・実践力を育成するとともに、教育に関する高度の実践的専門性と教育実践を具体的な場で創成しリードする力を育成することを目的とする。

(研究科、教育部)

第2条 大学院に次の研究科、教育部、課程及び専攻を置く。

教育学研究科

修士課程

教育支援科学専攻

教科教育専攻

教職大学院の課程

教育実践創成専攻

医工農学総合教育部

博士課程

4年博士課程

先進医療科学専攻

生体制御学専攻

3年博士課程

ヒューマンヘルスケア学専攻
人間環境医工学専攻
機能材料システム工学専攻
情報機能システム工学専攻
環境社会創生工学専攻

修士課程

生命医科学専攻
看護学専攻
工学専攻
生命環境学専攻

2 前項の研究科、教育部及び各専攻ごとの人材養成上の目的、及び教育目標は、別表第1のとおりとする。

(研究部)

第3条 大学院に総合研究部を置く。

(定員等)

第4条 大学院の入学定員及び収容定員は、別表第2のとおりとする。

第2節 学年、学期及び休業日

(学年)

第5条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第6条 学年を次の2学期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第7条 学年中の定期休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
 - (2) 土曜日
 - (3) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (4) 開学記念日（10月1日）
- 2 春季休業、夏季休業及び冬季休業については、別に定める。
- 3 臨時の休業日については、その都度定める。

第3節 入学

(入学の時期)

第8条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、後期の始めに入学させることができる。

(修士課程の入学資格)

第9条 修士課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学（以下「大学」という。）を卒業した者

- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた者
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

（教職大学院の課程の入学資格）

第9条の2 教職大学院の課程に入学することのできる者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に定める免許状（一種）を有し、かつ前条各号のいずれかに該当する者とする。

（4年博士課程の入学資格）

第10条 4年博士課程に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 大学の医学部医学科を卒業した者
- (2) 大学の歯学部を卒業した者
- (3) 大学における修業年限6年の獣医学又は薬学を履修する課程を修了した者
- (4) 外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学、歯学、獣医学又は薬学）を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程に限る。）を修了した者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、獣医学又は薬学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が5年（医学、歯学、獣医学又は薬学に限る）以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位

置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(8) 文部科学大臣の指定した者

(9) 大学(医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程に限る。)に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程(医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程に限る。)を修了し、大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認められた者

(10) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程(医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程に限る。)を修了し、大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認められた者

(11) 我が国において、外国の大学の16年の課程(医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認められた者

(12) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者

(13) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学の医学部医学科を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの

(3年博士課程の入学資格)

第11条 3年博士課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 修士の学位又は学校教育法第104条第1項に規定する専門職大学院の課程を修了した者に授与される文部科学大臣の定める学位(以下この条において「専門職学位」という。)を有する者

(2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

(4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

(5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合決議に基づき設立された国際連合大学(以下「国際連合大学」という。)の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

(6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(7) 文部科学大臣の指定した者

(8) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの

(入学出願の手続)

第12条 入学志願者は、所定の手続により、願出なければならない。

(入学者の選考)

第13条 入学志願者については、選考の上、当該研究科委員会、又は教育部教授会の意見を聴いて、学長が合格者を決定する。

2 入学者の選考に関する必要な事項は、別に定める。

(入学手続及び入学許可)

第14条 前条の選考に合格した者は、所定の期日までに、入学宣誓書その他指定の書類を提出するとともに、入学料を納入しなければならない。ただし、入学料の免除及び徴収猶予を願い出た者の入学料の納入については、この限りでない。

2 学長は、前項の入学手続を終えた者に対し、入学を許可する。

(再入学)

第15条 大学院を退学した者、又は第36条第5号の規定により除籍された者が、再入学を願い出たときは、選考の上、学期の始めに入学を許可することがある。ただし、懲戒による退学者の再入学は認めない。

(転入学)

第16条 他の大学院の学生で、大学院に転入学を志願する者については、選考の上、入学を許可することがある。

2 前項の規定により、転入学を志願する者は、現に在籍する大学院の研究科長、教育部長又は学長の許可証を提出しなければならない。

(転専攻等)

第17条 大学院（教職大学院の課程を除く。）の学生で、他の専攻及びそれに設置されるコースへ転専攻、転コースを志願する者については、当該研究科委員会、又は教育部教授会の意見を聴いて、許可することがある。

2 前項に関する必要な事項は、別に定める。

第4節 標準修業年限及び在学年限

(標準修業年限)

第18条 修士課程及び教職大学院の課程の標準修業年限は、2年とする。

2 4年博士課程の標準修業年限は、4年とする。

3 3年博士課程の標準修業年限は、3年とする。

(在学年限)

第19条 修士課程及び教職大学院の課程には、4年を超えて在学することができない。

2 4年博士課程には8年を超えて在学することができない。

3 3年博士課程には6年を超えて在学することができない。

4 転入学、再入学又は転専攻を許可された者の在学年限は、所属研究科委員会、又は教育部教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

(長期履修学生)

第19条の2 大学院（教職大学院の課程を除く。）において、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する者に対しては、教育研究に支障がない場合に限り、長期履修学生としてその計画的な履修を認めることがある。

2 長期履修学生の標準修業年限及び在学年限等必要な事項は、第18条及び第19条の規定にかかわらず、別に定める。

第5節 教育課程及び履修方法等

(教育課程の編成方針等)

第20条 大学院（教職大学院の課程を除く。）の教育は、その教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）の計画を策定し、体系的に教育課程を編成するものとする。

- 2 教職大学院の課程は、その教育上の目的を達成するため必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。
- 3 教育課程の編成に当たっては、大学院は、専攻分野に関する高度の専門知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関する基礎的素養を涵養するよう適切に配慮するものとする。
- 4 教育学研究科の授業科目、単位数及び履修方法は、山梨大学大学院教育学研究科規則（以下「教育学研究科規則」という。）の定めるところによる。
- 5 医工農学総合教育部の授業科目、単位数及び履修方法は、山梨大学大学院医工農学総合教育部細則（以下「教育部細則」という。）の定めるところによる。

(単位の計算基準)

第20条の2 1単位の授業科目に必要な学修の時間及び計算基準については、山梨大学学則第24条を準用する。

- 2 一の授業科目について、講義・演習・実験・実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するときは、その組合せに応じ、前項により準用する規程を考慮した時間の授業をもって1単位とする。
- 3 前項に関し必要な事項は、別に定める。

(成績評価の基準等)

第20条の3 教育学研究科及び医工農学総合教育部は、学生に対して授業及び研究指導の方法及び内容並びに一年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 教育学研究科及び医工農学総合教育部は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行うものとする。
- 3 前項に関し必要な事項は、別に定める。

(教育方法の特例)

第21条 教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(他の研究科又は教育部における授業科目の履修)

第22条 大学院（教職大学院の課程を除く。）が教育上有益と認めるときは、学生が大学院の定めるところにより他の研究科又は教育部において履修した授業科目について修得した単位を、当該研究科又は教育部における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項に関する必要な事項は、教育学研究科規則又は教育部細則の定めるところによる。

(他の大学院における授業科目の履修)

第23条 大学院（教職大学院の課程を除く。）が教育上有益と認めるときは、学生が大学院の定めるところにより他の大学院（外国の大学院及び国際連合大学の教育課程を含む。）において履修した授業科目について修得した単位を、大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項に関する必要な事項は、教育学研究科規則又は教育部細則の定めるところによる。

(他の大学院等における研究指導)

第24条 大学院(教職大学院の課程を除く。)が教育上有益と認めるときは、学生が他の大学院又は研究所等において、必要な研究指導を受けることを認めることができる。

2 前項に関する必要な事項は、教育学研究科規則又は教育部細則の定めるところによる。

(転専攻前の専攻で修得した授業科目の単位)

第25条 大学院(教職大学院の課程を除く。)が教育上有益と認めるときは、転専攻を許可された学生が転専攻前の専攻において履修した授業科目について修得した単位を、転専攻後の専攻における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項に関する必要な事項は、別に定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第26条 大学院(教職大学院の課程を除く。)が教育上有益と認めるときは、学生が大学院に入学する前に大学院又は他の大学院(外国の大学院及び国際連合大学の教育課程を含む。)において履修した授業科目について修得した単位(大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第15条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。)を、大学院に入学した後の大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項に関する必要な事項は、教育学研究科規則又は教育部細則の定めるところによる。

(単位修得の認定等)

第27条 各授業科目の単位修得の認定は、試験、研究報告又はその他の審査により行う。

2 前項に関する必要な事項は、教育学研究科規則又は教育部細則の定めるところによる。

(教育職員の免許状)

第28条 教育職員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 本学の大学院において前項の所要資格を取得できる教育職員の免許状の種類は、教育学研究科規則又は教育部細則の定めるところによる。

(教育方法等に関するその他の事項)

第29条 第20条から第28条に定めるもののほか、教育方法等に関する必要な事項は、別に定める。

第6節 留学、休学、復学、転学、退学及び除籍

(留学)

第30条 学生が他の大学院等で修学しようとするときは、所定の手続を経て留学することができる。

2 前項の規定により留学した期間は、第18条及び第19条の期間に算入する。ただし、休学によって他の大学院等で学修したものは、第37条、第38条及び第39条に規定する課程の修了要件とはならない。

(休学)

第31条 学生が、病気その他特別の理由により2月以上修学することができないときは、所定の手続を経て、休学することができる。

2 病気等の理由により修学することが適当でないと認められる者に対しては、所定の手続を経て学

長は、期間を定めて休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第32条 休学の期間は、1年以内とする。ただし、特別の事情がある場合には、通算して、修士課程にあっては2年、4年博士課程にあっては4年、3年博士課程にあっては3年まで休学を許可することがある。

2 休学した期間は、第19条、第37条、第38条及び第39条の期間に算入しない。

(復学)

第33条 学生が休学期間中にその理由が消滅し、復学しようとするときは、所定の手続を経て、学長に願い出て、復学することができる。

(転学)

第34条 学生が、他の大学院に転学しようとするときは、所定の手続を経て、学長に願い出て、許可を受けなければならない。

(退学)

第35条 学生が、退学しようとするときは、所定の手続を経て、学長に願い出て、許可を受けなければならない。

(除籍)

第36条 学生が次の各号のいずれかに該当するときは、所定の手続を経て、学長は当該学生を除籍する。

- (1) 修士課程及び教職大学院の課程に4年在学して、なお第37条に規定する課程修了の要件を満たすことができない者
- (2) 3年博士課程に6年在学して、なお第39条に規定する課程修了の要件を満たすことができない者
- (3) 4年博士課程に8年在学して、なお第38条に規定する課程修了の要件を満たすことができない者
- (4) 第32条第1項の期間を超えて、なお修学できない者
- (5) 入学料の免除又は徴収猶予の申請をした者のうち、不許可になった者又は半額免除が許可になった者及び徴収猶予が許可された者で、所定の期日までに入学料を納入しない者
- (6) 授業料の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- (7) 長期間にわたり行方不明の者

第7節 課程の修了要件及び学位の授与

(修士課程の修了要件)

第37条 修士課程の修了の要件は、当該課程に2年以上在学し、教育学研究科規則又は教育部細則で定める授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該修士課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(教職大学院の課程の修了要件)

第37条の2 教職大学院の課程の修了要件は、当該課程に2年以上在学し、46単位以上（実習10単位を含む。）を修得することとする。

(博士論文研究基礎力審査による修了)

第37条の3 大学院設置基準第4条第4項の規定により修士課程として取り扱うものとする課程の修了要件は、当該博士課程の目的を達成するために必要と認められる場合には、第37条に規定する大学院の行う修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することに代えて、大学院が行う次に掲げる試験及び審査(この条において「博士論文研究基礎力審査」という。)に合格することとすることができる。

- (1) 専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養であって当該過程において修得し、又は涵養すべきものについての試験
- (2) 博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力であって当該課程において修得すべきものについての審査

2 前項に関する必要な事項は、別に定める。

(4年博士課程の修了要件)

第38条 4年博士課程の修了の要件は、当該課程に4年以上在学し、教育部細則に定める授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

(3年博士課程の修了要件)

第39条 3年博士課程の修了の要件は、当該課程に3年以上在学し、教育部細則で定める授業科目について、ヒューマンヘルスケア学専攻においては16単位以上、他の専攻においては14単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、第37条第1項ただし書の規定による在学期間をもって修士課程を修了した者の3年博士課程の修了要件については、前項ただし書中「1年」とあるのは「2年」と読み替えて、同項の規定を適用する。

(教職大学院の課程に係る連携協力校)

第39条の2 教職大学院の課程は、第37条の2に規定する実習その他当該課程の教育上の目的を達成するために、連携協力校を確保するものとする。

(学位の授与等)

第40条 修士課程の修了を認定された者に対して、修士の学位を授与する。

2 教職大学院の課程の修了を認定された者に対して、教職修士(専門職)の学位を授与する。

3 博士課程の修了を認定された者に対して、博士の学位を授与する。

4 前項に定める者のほか、博士の学位は、博士課程を経ない者であっても、本学に博士の学位の授与を申請し、博士論文を提出してその審査に合格し、かつ、当該課程を修了した者と同等以上の学力があると確認された者にも授与する。

5 学位論文の審査及び最終試験の方法、その他学位に関し必要な事項は、山梨大学学位細則の定めるところによる。

第8節 賞罰

(表彰)

第41条 学生として表彰に価する行為があった場合は、学長が表彰することがある。

(懲戒)

第42条 大学院の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、所属研究科委員会又は教育部教授会の意見を聴いて、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みのないと認められる者

(2) 正当な理由がなくて出席常でない者

(3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 停学の期間は、第18条に規定する修業年限には算入せず、第19条に規定する在学年限には算入する。

第9節 研究生等

(研究生)

第43条 大学院（教職大学院の課程を除く。）において特定の専門事項について研究することを志願する者に対しては、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生に関する必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第44条 大学院（教職大学院の課程を除く。）において一又は複数の授業科目の履修を志願する者に対しては、教育研究に支障がない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生に関する必要な事項は、別に定める。

(特別研究学生)

第45条 他の大学院（外国の大学院を含む。）の学生で、大学院（教職大学院の課程を除く。）において特定の研究課題について研究指導を受けることを志願する者に対しては、当該大学院との協議に基づき、特別研究学生として入学を許可することがある。

2 特別研究学生に関する必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

第46条 他の大学院（外国の大学院を含む。）の学生で、大学院（教職大学院の課程を除く。）において特定の授業科目の履修を志願する者に対しては、当該大学院との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生に関する必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第47条 日本の大学において教育を受ける目的をもって入国した外国人で、大学院（教職大学院の課程を除く。）に学生として入学を志願する者がいるときは、特別に選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 日本の大学において教育を受ける目的をもって入国した外国人で、大学院（教職大学院の課程を除く。）に研究生、科目等履修生、特別研究学生又は特別聴講学生として入学を志願する者がいるときは、教育研究に支障がない場合に限り、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

3 外国人留学生に関する必要な事項は、別に定める。

第10節 その他

(検定料、入学料及び授業料)

第48条 検定料、入学料及び授業料に関する規程は、別に定める。

(改正)

第49条 この学則の改正については、教育研究評議会において、出席した委員の過半数の賛成を必要とする。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 山梨大学大学院学則（平成7年4月1日制定）、山梨医科大学大学院規則（昭和61年4月1日制定）及び山梨大学大学院学則（平成14年10月1日制定）は、廃止する。
- 3 国立大学法人法（平成15年法律第112号）附則第17条の規定に基づき、山梨大学大学院及び山梨医科大学大学院を修了するために必要であった教育課程の履修を本大学院において行う者に係る教育課程の履修その他当該学生の教育に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年12月1日から施行し、平成17年9月9日から適用する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年1月23日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 前項の規程にかかわらず、物質・生命工学専攻及び当該教育課程は、施行日前に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 物質生命・工学専攻及び自然機能開発専攻の平成20年度収容定員は、別表（第4条関係）の規定にかかわらず、次のとおりとする。

専 攻	収 容 定 員
物質・生命工学専攻	30人
自然機能開発専攻	52人

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、自然機能開発専攻及び当該教育課程は、施行日前に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、教育学研究科学校教育専攻、障害児教育専攻、教科教育専攻の各専攻及び教育課程は、施行日前に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 教育学研究科修士課程及び教職大学院の課程の平成22年度収容定員は、別表（第4条関係）の規定にかかわらず、次のとおりとする。

研究科	課程	専攻	収容定員
教育学研究科	修士課程	学校教育専攻	6(1)
		障害児教育専攻	3
		教育支援科学専攻	6(1)
		教科教育専攻	55(5)
	計	70(7)	
	教職大学院の課程	教育実践創成専攻	14

- 4 転専攻等については、第17条第1項の規定にかかわらず、施行日前に在学する者は、コースを専修と読み替えるものとする。
- 5 第4条に定める医学工学総合教育部博士課程の収容定員は、同条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

研究科	課程		専攻名	収容定員		
				平成22年度	平成23年度	平成24年度
医学工学総合教育部	博	4年	先進医療科学専攻	80	76	72
			生体制御学専攻	46	44	42
			計	126	120	114
	士	3年	ヒューマンヘルスケア学専攻	12	12	12
			人間環境医工学専攻	52	50	48
			機能材料システム工学専攻	36	33	30
			情報機能システム工学専攻	33	30	27
			環境社会創生工学専攻	36	33	30
		計	169	158	147	
		計	295	278	261	
合計				(7)	(6)	(6)
				879	862	845
				[6]	[6]	[6]

附 則

この学則は、平成24年7月25日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年9月29日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行し、第2条及び第4条については、平成26年12月24日から適用する。

附 則

- この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 前項の規定にかかわらず、施行日前に設置されている医学工学総合教育部修士課程医科学専攻、機械システム工学専攻、電気電子システム工学専攻、コンピュータ・メディア工学専攻、土木環境工学専攻、応用化学専攻、生命工学専攻、持続社会形成専攻、人間システム工学専攻及び当該教育課程は、施行日前に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 医工農学総合教育部修士課程及び前項の規定により存続する医学工学総合教育部修士課程の平成28年度の収容定員は、同条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

研究科、教育部	専攻	収容定員		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
医学工学総合教育部	医 科 学 専 攻	20		
	看 護 学 専 攻	16		
	機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻	33		
	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 専 攻	27		
	コ ン プ ュ ー タ ・ メ デ ィ ア 工 学 専 攻	30		
	土 木 環 境 工 学 専 攻	27		
	応 用 化 学 専 攻	30		
	生 命 工 学 専 攻	22		
	持 続 社 会 形 成 専 攻	24		
	人 間 シ ス テ ム 工 学 専 攻	18		
医工農学総合教育部	生 命 医 科 学 専 攻	10		
	看 護 学 専 攻	14		
	工 学 専 攻	181		
	生 命 環 境 学 専 攻	45		
合 計		497		

- 4 附則第1項の規定にかかわらず、施行日前に設置されている医学工学総合教育部博士課程先進医療科学専攻、生体制御学専攻、ヒューマンヘルスケア学専攻、人間環境医工学専攻、機能材料システム工学専攻、情報機能システム工学専攻、環境社会創生工学専攻及び当該教育課程は、施行日前に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 5 前項の規定により存続する医学工学総合教育部博士課程及び医工農学総合教育部博士課程の平成28年度から平成30年度までの収容定員は、同条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

研究科、教育部	専攻	収容定員		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
医学工学総合教育部	先 進 医 療 科 学 専 攻	51	34	17
	生 体 制 御 学 専 攻	30	20	10
	ヒューマンヘルスケア学専攻	8	4	0
	人 間 環 境 医 工 学 専 攻	32	16	0
	機 能 材 料 シ ス テ ム 工 学 専 攻	20	10	0
	情 報 機 能 シ ス テ ム 工 学 専 攻	18	9	0
	環 境 社 会 創 生 工 学 専 攻	20	10	0
医工農学総合教育部	先 進 医 療 科 学 専 攻	17	34	51
	生 体 制 御 学 専 攻	10	20	30
	ヒューマンヘルスケア学専攻	4	8	12
	人 間 環 境 医 工 学 専 攻	16	32	48
	機 能 材 料 シ ス テ ム 工 学 専 攻	10	20	30
	情 報 機 能 シ ス テ ム 工 学 専 攻	9	18	27
	環 境 社 会 創 生 工 学 専 攻	10	20	30
合 計		255	255	255

附 則

この規則は、平成28年11月29日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

別表第1(第2条第2項関係)

研究科、教育部	人材養成上の目的	教育目標
教育学研究科	現代社会が直面する課題の解決に応用でき、また、これら応用研究の基礎となる学術研究を、国際的視野を持って創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人の養成	教育実践に関わる学術諸分野と一般社会における専門的職業人の養成を目指します。
医工農学総合教育部 博士課程	現代社会が直面する課題の解決に応用でき、また、これら応用研究の基礎となる学術研究を、国際的視野を持って創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人の養成	研究者もしくは高度な専門技術者として自立して研究活動を行うに必要な深い学識と高度な研究能力並びに高い倫理観を備えた優れた研究者もしくは高度な専門技術者の養成を目指します。
医工農学総合教育部 修士課程	現代社会が直面する課題の解決に応用でき、また、これら応用研究の基礎となる学術研究を、国際的視野を持って創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人の養成	専門知識及び開発能力、問題発見・解決能力、国際的コミュニケーション能力を修得し、専門技術者・研究者として社会に貢献できる人材の養成を目指します。

専攻	人材養成上の目的	教育目標
教育支援科学専攻	学校教育に関わる諸問題について理論的・実践的な研究を深め、教育の本質とその現代的・将来的な課題を探求し得る高度な専門性並びに障害児教育についての高度な研究と実践に必要な専門的能力を有する有為な人材の養成	一人ひとりの子どもたちの教育を受ける権利を保障しその成長発達のニーズに応え支援する教育実践・教育制度を探求し新たな教育実践を構想する力の基盤となる、教育支援科学的調査研究法とそれを駆使した知見の開発の進展と教育を目指します。
教科教育専攻	教科の教育内容に関する専門的知識を深め、教材とそのシーケンス及び授業法を開発できる人材の養成	教科の教育内容に関する専門的知識を深め教材とそのシーケンスおよび授業法について開発する力を育成するために、文化特性に応じて、各文化領域（言語文化、社会文化、科学文化、芸術文化、身体文化）における教育内容の核を構成する本質的知見および教材研究・授業法に関する基礎研究の進展とその教育を目指します。
教育実践創成専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や学校において指導的・中核的な役割を果たし得るに不可欠な確かな指導理論と高度で優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダーの養成（現職大学院生） ・ 実践的な指導力・展開力を備える新しい学校づくりの有力な担い手として自ら積極的に取り組み、将来的にリーダーとしての役割を果たすことができる新人教員の養成（学部卒大学院生） 	地域の学校の課題に即した学校改善・授業改善の構想力・実践力を育成するとともに、教育に関する高度の実践的専門性と教育実践を具体的な場でリードする力の育成を目指します。

専攻	人材養成上の目的	教育目標
先進医療科学専攻	治療法の開発、先端治療の臨床応用等に関する高度な教育研究を展開し、明日の医療を担う人材を養成	人体諸器官の機能発現機構とその内分泌、脳神経系による調節機構、悪性腫瘍、感染症をはじめとする種々の疾患の診断や治療技術・医療機器開発に関わる教育研究等を推進する。これらの教育研究を通じて、先進医学研究のフロンティアを切り開く人材の養成を目指します。
生体制御学専攻	生体の情報処理ならびに調節機構を解明し、様々な病態を学際的に理解できる人材の養成	現代生命科学研究の共通の手法である形態学、分子細胞生物学、生化学、分子遺伝学などの手法を駆使して生体の様々な情報処理・制御機構の解析を行い、同時にそれが障害された際に見られる病態を解明できる人材の養成を目指します。
ヒューマンヘルスケア学専攻	人間を科学的に理解し、健康生活の維持、促進を支援できる人材の養成	人間を身体・心理・社会的側面から包括的に捉え、小児・青年・成人・高齢者の健康問題からの回復および健康生活の維持・促進を支援することを目的とするヒューマンヘルスケア学にふさわしい実践方法、研究方法、および教育活動の開発・構築に努め、看護学の発展に寄与する人材の養成を目指します。
人間環境医工学専攻（生体環境学コース）	医学・工学の学問基盤に相互の知を融合させた先端的教育研究による、現代社会の難題に挑む人材の養成	医学、工学の教育、並びに倫理学・哲学、心理学等の人文・社会科学領域の教育も行い、生命科学に対する深い造詣と学際的な洞察力を持ち、将来、大学や研究所などの教育研究機関で、基礎研究や臨床医学研究を遂行するリーダーとして活躍できる人材の養成を目指します。
人間環境医工学専攻（生命情報システム学コース）	工学を基盤として、生命現象と多様な情報をシステムティックにとらえる複合的視野と医工融合分野へ挑む創造的意欲を持って、優れた医療環境と社会環境の実現に貢献できる人材の養成	生命工学・知能情報科学・先進医用工学を教育研究の柱として、生命現象に関わる多様な情報をシステムティックに解析し、幅広い生命および情報科学分野に貢献できると共に、医工融合領域の研究活動を行うのに必要な学際的知識と高度な研究能力並びに高い倫理観を兼ね備えた研究者及び高度技術者の養成を目指します。

専攻	人材養成上の目的	教育目標
機能材料システム工学専攻	新素材、高機能物質、各種先端ナノデバイスを開発し、新規産業分野の開拓を目指す人材の養成	「物質設計化学分野」、「電子機能開発分野」および「機能創造工学分野」の3分野で構成されています。科学技術立国を目指す我が国の国家的研究課題の中核をなす新素材および高機能物質の創製開発、情報化社会のさらなる発展に資する各種先端ナノデバイスの開発研究などを主たる対象とした総合的な教育研究のためのカリキュラムを配置し、一連の学術的な基盤を教授するとともに、その先端的知識と技術を新規産業分野の開拓に発展させることのできる創造的人材の養成を目指します。
情報機能システム工学専攻	生産システムや情報システムを構成するハードウェア、ソフトウェア、情報通信ネットワークを広い視野から設計、構築、運用でき、国際的なプロジェクトで活躍できる人材の養成	「システムソリューション工学分野」、「情報通信システム工学分野」、「機械デザインシステム分野」、「機械情報システム分野」の4分野で構成されています。ソフトウェア、情報通信ネットワーク、生産システム、人間-機械システムを4つの柱として位置付け、それらを基礎としたものづくりのための生産システムをはじめ様々なビジネスシステムまで、幅広いシステムソリューションを提供するための教育研究を行い、国際的に通用する基礎学力をそなえ、ものづくりの新規技術や情報・通信技術を駆使して、さまざまな生産システムやビジネスシステムを、分析、設計、構築、運用、評価できるとともに、システム開発プロジェクトをリードできる人材の養成を目指します。
環境社会創生工学専攻	環境と調和した社会基盤の整備・保全に関する技術開発、自然機能に関する先端的技術の開発、社会の政策・計画における予測・評価手法の開発に関わる専門技術者・研究者を目指す人材の養成	「環境社会システム工学分野」、「環境社会創生工学分野」、「環境社会評価分野」の3分野、および、分野を超えた「国際流域総合水管理特別コース」で構成されています。環境社会創生の対象としての社会基盤施設と、それを取巻く環境の計画、設計、建設、計測、管理、保全に関わる専門技術を習得して時代の要請に応える社会基盤の創造を推進できる人材や、人と自然、人と人との共生社会の創生に関わる根源的な課題を多様な観点から考察し、持続可能な社会に向けた課題解決に必要な社会予測・評価方法を習得した人材の養成を目指します。なお、国際流域総合水管理特別コースでは、英語での講義を基本とするとともに、専門的な教育の他、国際的な学外組織との共同研究活動や国際的な会議の運営参加や発表などの経験を学生に課し、協調性ある国際人の養成を目指します。

専攻	人材養成上の目的	教育目標
生命医科学専攻	高度先端技術と学際的知識を備えた先進的な研究者、もしくは高度な専門技術者の養成	将来の生命科学研究を担う研究者の養成ばかりではなく、同時に生命科学、社会医学研究の成果を、医療機関の現場、保健医療行政および健康教育分野において実践できる高度の先端技術と学際的知識を持つ専門技術者の養成を目指します。
看護学専攻	質の高い看護サービスを提供できる看護専門職の養成	質の高い看護サービスを提供するために求められる科学的知識と技術を有する看護専門職の養成を目指します。
工学専攻	イノベーションの持続的創出を担いグローバルに活躍できる高度専門職業人の養成	工学系高度専門職業人に共通して求められる解析法および分析法を修得させるとともに、高度な専門知識および専門応用能力をもち、各種工業技術を適正かつ効率的に駆使し、産業分野で中核となって活躍できる人材を育成します。くわえて、関連する専門分野をより広く学ぶことにより俯瞰的なものの見方を身につけ、コミュニケーション能力や国際的視野も兼ね備え、社会や産業の急速な変化に対応できるとともに新たな産業分野においても活躍できる素養を身につけた工学系高度専門職業人の養成を目指します。
生命環境学専攻	人類の普遍的課題である「食と健康」及び「生命と環境」に関する多様で複雑な諸課題を、農学を基盤とした学際的取り組みによって解決へと導くことが出来る高度専門職業人の養成	農学を基盤とした文理融合教育により広範な知識を身につけると共に、「バイオサイエンスコース」、「食物・ワイン科学コース」、「地域環境マネジメントコース」の各コースの専門科目を学ぶことにより、「食と健康」及び「生命と環境」に関する深い専門性と高度な技術を備えた人材の養成を目指します。

別表第2 (第4条関係)

(単位:人)

研究科、 教育部	課 程		専 攻	入学定員	収容定員	
教育学研究科	修士課程		教育支援科学専攻	6 (1)	12 (2)	
			教科教育専攻	22 (2)	44 (4)	
			計	28 (3)	56 (6)	
	教職大学院の 課程		教育実践創成専攻	14	28	
医工農学総合教育部	修士課程		生命医科学専攻	10	20	
			看護学専攻	14	28	
			工学専攻	181	362	
			生命環境学専攻	45	90	
			計	250	500	
	博士課程	4年	先進医療科学専攻	17	68	
			生体制御学専攻	10	40	
			計	27	108	
		3年	ヒューマンヘルスケア学専攻	4	12	
			人間環境医工学専攻	16	48	
			機能材料システム工学専攻	10	30	
			情報機能システム工学専攻	9	27	
			環境社会創生工学専攻	10	30	
		計	49	147		
		計			76	255
		合 計				368

(注) () は外国人留学生で内数

2 山梨大学学位細則

制定 平成27年11月26日

(趣 旨)

第1条 この細則は、学位規則（昭和28年文部省令第9号。以下「省令」という。）第13条、山梨大学学則（以下「学則」という。）第38条第2項及び山梨大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第40条第5項の規定に基づき、山梨大学（以下「本学」という。）が授与する学位に関し必要な事項を定めるものとする。

(学位の種類)

第2条 本学が授与する学位は、学士、修士、博士及び教職修士（専門職）とする。

2 学士の学位に付記する専攻分野の名称は、次のとおりとする。

教育学部	学士（教育）
医学部	学士（医学）
〃	学士（看護学）
工学部	学士（工学）
生命環境学部	学士（生命工学）
〃	学士（農学）
〃	学士（環境科学）
〃	学士（社会科学）

3 修士の学位に付記する専攻分野の名称は、次のとおりとする。

教育学研究科修士課程	修士（教育学）
医工農学総合教育部修士課程	
生命医科学専攻	修士（医科学）
看護学専攻	修士（看護学）
工学専攻	修士（工学）
生命環境学専攻	修士（農学）
〃	修士（学術）

4 博士の学位に付記する専攻分野の名称は、次のとおりとする。

医工農学総合教育部博士課程	
4年博士課程	
先進医療科学専攻	博士（医学）
生体制御学専攻	博士（医学）
3年博士課程	
ヒューマンヘルスケア学専攻	博士（看護学）
人間環境医工学専攻	博士（医科学）
〃	博士（医工学）
〃	博士（情報科学）
機能材料システム工学専攻	博士（工学）
情報機能システム工学専攻	博士（工学）
環境社会創生工学専攻	博士（工学）
〃	博士（学術）
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	博士（工学）

(学位授与の要件)

第3条 学士の学位は、本学を卒業した者に授与する。

2 修士の学位は、本学大学院修士課程を修了した者に対し授与する。

3 博士の学位は、本学大学院博士課程を修了した者に対し授与する。

4 教職修士(専門職)の学位は、本学大学院教職大学院の課程を修了した者に対し授与する。

5 第3項に定めるもののほか、博士の学位は、本学に学位論文を提出してその審査に合格し、かつ、本学大学院博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することが確認(以下「学力の確認」という。)された者にも授与することができる。

(学位論文の中間審査)

第4条 本学大学院博士課程を修了しようとする者が学位論文の審査を申請する場合において、専攻により、学位論文の提出に先立って、別に定める学位論文の中間審査を行うことがある。

(修士課程又は博士課程を修了しようとする者の学位論文の提出)

第5条 本学大学院修士課程又は博士課程を修了しようとする者が学位論文の審査を申請する場合は、別に定める期日までに、学位論文審査願に学位論文及び別に定めるその他の申請書類を添え、教育学研究科長又は医工農学総合教育部長に提出するものとする。

(修士課程を修了しようとする者の研究成果の提出)

第5条の2 本学大学院修士課程を修了しようとする者が、前条に規定する学位論文に代え、山梨大学大学院学則第37条第1項に規定する特定の課題についての研究の成果(以下「研究成果」という。)の審査を申請する場合は、別に定める期日までに、研究成果審査願に研究成果及び別に定めるその他の申請書類を添え、教育学研究科長又は医工農学総合教育部長に提出するものとする。

(課程を経ない者の学位授与の申請)

第6条 第3条第5項の規定により学位の授与を申請する者は、学位論文審査願に学位論文及び別に定めるその他の申請書類を添え、医工農学総合教育部長に提出するとともに、国立大学法人山梨大学授業料等に関する規程第8条に規定する学位論文審査手数料を納入しなければならない。

2 前項の場合において、本学大学院博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、退学後1年以内に学位論文を提出した場合には、学位論文審査手数料は免除する。

(学位論文又は研究成果の提出)

第7条 提出する学位論文又は研究成果は、1編とする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。

2 学位論文又は研究成果の審査のため必要があると認めるときは、提出者に対して、当該論文の訳文、模型、標本等の資料の提出を求めることができる。

(学位論文、研究成果及び学位論文審査手数料の返付)

第8条 受理した学位論文、研究成果及び既納の学位論文審査手数料は、返付しない。

(審査の付託)

第9条 教育学研究科長は、第5条により提出された学位論文又は研究成果を受理したときは、その審査及び最終試験を教育学研究科委員会に付託するものとする。

2 医工農学総合教育部長は、第5条及び第6条第1項により提出された学位論文又は研究成果を受理したときは、その審査及び最終試験又は専攻分野に関する学力の確認を医工農学総合教育部教授会に付託するものとする。

(審査委員)

- 第10条 教育学研究科委員会及び医工農学総合教育部教授会（以下「研究科委員会等」という。）は、前条の付託を受けたときは、審査する学位論文又は研究成果ごとに、審査及び最終試験又は学力の確認を行うため、論文等審査委員会を設置する。
- 2 論文等審査委員会の委員の選出等については、別に定める。

(最終試験)

- 第11条 修士課程又は博士課程を修了しようとする者に対する最終試験は、学位論文又は研究成果の審査が終わった後、その関連分野について、口答又は筆答により行うものとする。

(学力の確認)

- 第12条 第3条第5項の規定により、学位論文を提出して学位の授与を申請した者に対する学力の確認は、博士課程を修了した者と同等以上の学力を有し、かつ、研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有するか否かについて、口頭又は筆答試問により行うものとする。

(学力確認の特例)

- 第13条 第3条第5項の規定により、学位の授与を申請した者が、本学大学院博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得した者であるときは、医工農学総合教育部教授会で定める年限内に限り、前条の学力の確認を免除することができる。

(審査期間)

- 第14条 修士課程又は博士課程を修了しようとする者の学位論文又は研究成果の審査及び最終試験は、当該学生の在学する期間内に終了するものとする。
- 2 第3条第5項の規定により、学位の授与を申請した者の審査期間は、医工農学総合教育部長が当該学位授与の申請を受理した日から1年以内に終了するものとする。ただし、特別の理由が生じ、医工農学総合教育部教授会が承認したときは、その期間を更に1年以内に限り延長することができる。

(審査結果の報告)

- 第15条 論文審査委員会は、学位論文又は研究成果の審査及び最終試験又は学力の確認を終了したときは、直ちにその結果を、文書をもって当該研究科委員会等に報告しなければならない。

(学位授与の審議)

- 第16条 研究科委員会等は、前条の報告に基づき学位授与の可否を審議し、議決するものとする。
- 2 前項の議決をするには、出席委員の3分の2以上の賛成を必要とする。

(学長への報告)

- 第17条 教育学研究科長又は医工農学総合教育部長は、前条第1項の議決をしたときは、議決の結果を文書をもって学長に報告しなければならない。

(学位の授与等)

- 第18条 学長は卒業を認定した者に対し、所定の学位記を授与する。
- 2 学長は、前条の報告に基づき、学位の授与を決定した者には所定の学位記を授与し、学位を授与することが適当でないとされた者には、その旨を通知するものとする。

(学位簿への登録及び学位授与の報告)

第19条 学長は、修士又は博士の学位を授与したときは、本学の学位簿に登録する。

2 第18条第2項の規定により、博士の学位を授与したときは、学長は省令第12条の定めるところにより、文部科学大臣に報告するものとする。

(学位論文要旨等の公表)

第20条 学長は、博士の学位を授与したときは、当該学位を授与した日から3月以内に、学位論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

(学位論文の公表)

第21条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、学長の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、学長は、その学位論文の全文を求めに応じて閲覧に供しなければならない。

3 前2項の規定により博士の学位論文を公表する場合には、「山梨大学審査学位論文(博士)」又は「山梨大学審査学位論文(博士)要旨」と明記しなければならない。

(学位の名称)

第22条 本学の修士、博士又は教職修士(専門職)の学位を授与された者が当該学位の名称を用いるときは、「山梨大学」と付記するものとする。

(学位授与の取消)

第23条 本学において修士、博士又は教職修士(専門職)の学位を授与された者が、不正の方法により当該学位を受けた事実が判明したとき、又は学位の名誉を汚す行為があったときは、学長は当該研究科委員会等の議を経て、学位の授与を取消し、学位記を返還させ、かつ、その旨を公表する。

2 前項の議決をする場合には、第16条第2項の規定を準用する。

(学位記の様式)

第24条 学位記の様式は、別記様式のとおりとする。

(雑 則)

第25条 この細則に定めるもののほか、学位に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この細則は、平成28年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、施行日前に教育人間科学部又は医学工学総合教育部に在学する者については、従前の例による。

3 山梨大学学位規程(平成16年4月1日制定)は廃止する。

別記様式(省略)

3 山梨大学大学院教育学研究科規則

制 定	平成16年 4月 1日
改 正	平成19年 3月22日
	平成21年11月 4日
	平成24年 3月21日
	平成25年 5月22日
	平成25年11月20日
	平成26年 1月15日
	平成27年 2月18日
	平成27年 4月 1日
	平成27年11月26日

(趣旨)

第1条 山梨大学大学院教育学研究科(以下「研究科」という。)に関し必要な事項は、山梨大学大学院学則(平成16年4月1日制定。以下「大学院学則」という。)及び山梨大学学位細則(平成27年11月26日制定)に定めるもののほか、この規則に定めるところによる。

(専攻及びコース)

第2条 研究科に次の課程、専攻及びコースを置く。

課 程	専 攻	コ ー ス
修士課程	教育支援科学専攻	
	教科教育専攻	言語文化コース 社会文化コース 科学文化コース 芸術文化コース 身体文化コース
教職大学院の課程	教育実践創成専攻	

(研究指導教員)

第3条 学生は、入学後、所属する専攻・コースの教員の中から研究指導を行う教員(以下「指導教員」という。)を定め、当該教員の了承を得て、指定の期間内に教育学研究科長(以下「研究科長」という。)に届け出なければならない。

- 前項に規定する指導教員の決定は、山梨大学大学院教育学研究科委員会(以下「研究科委員会」という。)が行う。
- 指導教員は、研究指導及びその他の指導を行う。

(授業科目及び単位数)

第4条 研究科における各専攻・コースの授業科目及び単位数は、別表1のとおりとする。

(修学の方法)

第5条 学生は、所属する専攻・コースにおける指導教員の研究指導を受けるものとする。

(履修単位)

第6条 学生は、前条に規定する修学の方法に応じて、次の表に定める単位数を修得しなければならない。

(修士課程)

科目区分		教育支援科学専攻	教科教育専攻
共通科目	専攻共通科目	6	2
	教科教育専攻コース共通科目		4
専門科目	教育支援科学専攻専門科目	18	6※
	教科教育専攻コース専門科目		12
課題研究		6	6
単位数合計		30	30

(注) 教科教育専攻の学生は、教育支援科学専攻の専門科目から6単位を修得しなければならない。

(教職大学院の課程)

科目区分	教育実践創成専攻
共通基礎科目	20
独自共通科目	4
発展科目	6
課題研究	6
実習	10
単位数合計	46

(履修の方法)

第7条 修士課程における授業科目の履修方法は、次の各号に掲げるところによる。

- (1) 共通科目は、専攻又はコースごとに開設されるものを履修しなければならない。
 - (2) 教育支援科学専攻の「専攻専門科目18単位」には、指定された選択必修科目6単位を含まなければならない。
 - (3) 教科教育専攻の「コース専門科目12単位」には、指定された選択必修科目2単位を含まなければならない。
 - (4) 教科教育専攻の学生は、教育支援科学専攻の専攻専門科目から6単位を修得しなければならない。
 - (5) 課題研究1は、所属する専攻又はコースの分野の教員のもとで1年次に2単位、課題研究2は、所属する専攻又はコースの分野の指導教員のもとで2年次に4単位を修得しなければならない。
- 2 教職大学院の課程における履修方法は、次の各号に掲げるところによる。
- (1) 共通基礎科目及び独自共通科目は、開設されたすべての科目を履修しなければならない。
 - (2) 発展科目は、開設された9科目から6単位を修得しなければならない。
 - (3) 課題研究は、所属する専攻の教員のもとで、1年次に4単位及び2年次に2単位を修得しなければならない。
 - (4) 実習は、連携協力校において指導教員のもとで、1年次に5単位及び2年次に5単位を修得しなければならない。
 - (5) 前各号に定める課程専門科目の年間の履修申告単位の上限は、37単位とする。
- 3 学生は、指導教員の指導を受けて、当該学年内において履修しようとする授業科目を定め、指定期間内に所定の様式により届け出なければならない。

(入学前の既修得単位の認定)

第7条の2 大学院学則第26条の規定により、修士課程の学生が入学前に修得した単位は、研究科委員会の承認を得て、10単位を超えない範囲で第6条に規定する修了に必要な単位数に算入する

ことができる。

(教育部における授業科目の履修)

第8条 修士課程の学生は、指導教員が特に必要と認めた場合に限り、大学院学則第22条の規定により、医学工学総合教育部（以下「教育部」という。）の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により、履修しようとする者は、書面をもってその旨を学長に願い出て、その許可を受けなければならない。

(教職大学院における実習に関する授業科目の履修)

第8条の2 修士課程の学生は、指導教員が必要と認めた場合は、研究科委員会の議を経て、教職大学院の課程の実習に関する授業科目を履修することができる。

2 学生が教職応用実習で修得した単位は、研究科委員会の議を経て、学部の教育職員免許状取得に必要な教育実習を履修し、修得したものとみなすことができる。

3 第8条の2第1項及び第2項の規定により修得した単位は、修了要件の単位には算入しないものとする。

4 その他必要な事項は、研究科委員会が別に定める。

(他の大学院における授業科目の履修)

第9条 修士課程の学生は、指導教員が特に必要と認めた場合に限り、大学院学則第23条の規定により、他の大学院の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により、履修しようとする者は、書面をもってその旨を学長に願い出て、その許可を受けなければならない。

(教育部及び他の大学院における履修単位の取扱い)

第10条 修士課程の学生は、第8条及び前条の規定により、履修して修得した単位については、研究科委員会の承認を得て、合わせて10単位を限度として、第6条に規定する修了に必要な単位に算入することができる。

(学部における授業科目の履修)

第11条 学生は、指導教員が必要と認めた場合は、研究科委員会の議を経て、学部の授業科目を履修させ、これを研究科で修得した単位とすることができる。ただし、当該修得単位は修了要件の単位には算入しないものとする。

2 前項の履修方法については、研究科委員会が別に定める。

(他の大学院又は研究所等における研究指導)

第12条 修士課程の学生で、大学院学則第24条の規定により、他の大学院又は研究所等において、必要な研究指導を受けようとする者は、書面をもってその旨を学長に願い出て、その許可を受けなければならない。

(教育方法の特例)

第13条 研究科における授業及び研究指導は、研究科委員会が教育上特別の必要があると認める場合は、夜間その他特定の時間において行うことができる。

2 現職教員等の社会人である学生で、前項に規定する教育方法の特例による授業又は研究指導を受けようとするときは、書面をもってその旨を研究科長に願い出て、その承認を受けなければならない。

3 教育方法の特例による履修方法については、研究科委員会が別に定める。

(試験)

第14条 試験は、学期末又は学年末に行う。ただし、研究報告又は平常の成績により評価することを妨げない。

(追試験及び再試験)

第15条 追試験及び再試験は、行わない。ただし、研究科委員会が特に認めたときは、追試験を行うことができる。

(成績)

第16条 授業科目の試験又は研究報告の成績は、100点を満点とし、60点以上を合格とする。
2 成績は点数により表示する。ただし、評語により表示する場合には、90点以上を「S」、80点以上90点未満を「A」、70点以上80点未満を「B」、60点以上70点未満を「C」とする。60点未満は「D」として不合格とする。

(学位論文の作成)

第17条 修士課程における学位論文（以下「学位論文」という。）は、指導教員の指導を受けて作成するものとする。
2 学位論文は、研究科委員会が研究科の目的に応じ適当と認めたときは、特定の課題についての成果をもって代えることができる。

(学位論文の提出)

第18条 学位論文を提出できる者は、第6条に規定する修了に必要な単位数を修得又は修得の見込の者でなければならない。
2 学位論文は、指定の期間内に研究科長に提出しなければならない。

(学位論文審査委員会委員の選出)

第18条の2 山梨大学学位細則第10条第2項に基づき、教育学研究科修士論文審査委員会委員は、当該学生の所属する専攻又はコースの修士担当教員のうちから、2人以上をもって組織する。ただし、必要があると認めるときは、修士担当教員に代え、修士準担当教員を当該審査員全員の半数以内で含むことができるものとする。
2 学位論文の審査のため必要があると認めるときは、他の大学院又は研究所等の教員等を含むことができるものとする。

(最終試験)

第19条 修士課程の最終試験は、学位論文を提出したものについて、筆答又は口答により行う。

(教育職員免許状)

第20条 研究科において修得できる教育職員免許状の種類及び教科は、別表2のとおりとする。

(再入学又は転入学)

第21条 大学院学則第15条又は第16条の規定により、再入学又は転入学しようとする者は、書面をもって研究科長に願い出て、研究科委員会の許可を受けなければならない。
2 前項の規定により、再入学又は転入学を許可された者の既修得単位は、研究科委員会の認定により、修了に必要な単位数に算入することができる。

(転専攻等)

- 第21条の2 大学院学則第17条の規定により、転専攻、転コースしようとする者は、所定の様式により研究科長に願い出て、研究科委員会の許可を受けなければならない。
- 2 転専攻、転コースしようとする者の選考は、転専攻、転コース先の専攻、コースが試験をもって行う。
 - 3 教育部に転専攻しようとする者は、研究科委員会の議を経た後、教育部に願い出るものとする。
 - 4 転専攻、転コースの時期は、学年の始めとし、願い出は2ヶ月前までに行うものとする。
 - 5 転専攻、転コースを願い出る場合は、現に在籍する専攻の指導教員及び転専攻、転コース先の指導教員の許可を得なければならない。
 - 6 転専攻、転コースできる者は、既に在学した期間と転専攻、転コース以後の在学期間の合計が4年を超えないものとする。
 - 7 転専攻、転コースは、在学期間中1回に限るものとする。
 - 8 大学院学則第25条の規定による授業科目の単位の認定は、転専攻、転コース先の専攻、コースが行う。

(研究生)

- 第22条 大学院学則第43条の規定により、修士課程において、特定の専門事項について研究しようとする者であって、研究科委員会においてその能力があると認められた者については、選考の上、研究生として入学を許可することがある。
- 2 研究生の在学期間は、1年とする。ただし、継続することを妨げない。

(科目等履修生)

- 第23条 大学院学則第44条の規定により、修士課程の授業科目の一科目又は数科目を選んで履修しようとする者であって、研究科委員会において履修する能力があると認められる者については、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

(特別研究学生)

- 第24条 大学院学則第45条の規定により、修士課程の研究指導を受けようとする者がいるときは、研究科委員会の議を経て、特別研究学生として履修を許可することがある。

(特別聴講学生)

- 第25条 大学院学則第46条の規定により、修士課程の授業科目を履修しようとする者がいるときは、研究科委員会の議を経て、特別聴講学生として履修を許可することがある。

(雑則)

- 第26条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、研究科委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、施行日前に教育学研究科に在学する者については、従前の例によるものとする。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成25年5月22日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成25年11月20日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成26年1月15日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成27年2月18日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年11月26日から施行する。

別表1 (第4条関係) 略

(Ⅱ 履修案内 6 開設科目一覧89頁を参照)

別表2 (第20条関係)

専攻	コース	取得できる専修免許状	
		種類	教科(領域)
教育支援科学		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語
		高等学校教諭専修免許状	国語、書道、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、保健、家庭、英語、商業
		幼稚園教諭専修免許状	
		特別支援学校教諭専修免許状	(知的障害者に関する教育の領域) (肢体不自由者に関する教育の領域) (病弱者に関する教育の領域)
教科教育	言語文化	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	国語、英語
		高等学校教諭専修免許状	国語、書道、英語
		幼稚園教諭専修免許状	
	社会文化	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	社会、家庭
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史、公民、家庭
	科学文化	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	数学、理科、技術
		高等学校教諭専修免許状	数学、理科
		幼稚園教諭専修免許状	
	芸術文化	小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	音楽、美術
		高等学校教諭専修免許状	音楽、美術、工芸
		幼稚園教諭専修免許状	
	身体文化	小学校教諭専修免許状	
中学校教諭専修免許状		保健体育	
高等学校教諭専修免許状		保健体育	
幼稚園教諭専修免許状			
教育実践創成 (教職大学院)		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語
		高等学校教諭専修免許状	国語、書道、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、保健、家庭、英語、商業

4 学位論文に関する細則

制 定 平成16年4月1日
改 正 平成22年4月1日
平成26年6月2日

(総則)

第1条 山梨大学大学院教育学研究科規則第17条及び第18条に定める学位論文に関しては、この細則に定めるところによる。

(学位論文題目の届出)

第2条 学生は、学位論文の題目を、指導教員の承認を得て、後期提出の場合は提出年度の11月17日(当日が閉庁日の場合は翌日)、前期提出の場合は提出年度の5月28日(当日が閉庁日の場合は翌日)までに届け出なければならない。

2 届出後変更が生じた場合は、指導教員の承認を受け、後期提出の場合は提出年度の12月17日(当日が閉庁日の場合は翌日)、前期提出の場合は提出年度の6月28日(当日が閉庁日の場合は翌日)までに届け出なければならない。

(学位論文の提出)

第3条 学生は、論文提出期間内に、論文1編に論文要旨及び「学位論文審査申請書」を添えて提出しなければならない。

2 当該専攻・コースの目的に応じ適当と認められるときは、作品、演奏、演技等の研究の成果及びそれに関する副論文をもって学位論文に代えることができる。

(学位論文の提出期間)

第4条 論文の提出日は次のとおりとする。

- (1) 前期提出の場合 8月28日から8月31日。
- (2) 後期提出の場合で別表に定める「Aグループ」の学生は、1月17日から1月20日。
- (3) 後期提出の場合で別表に定める「Bグループ」の学生は、1月28日から1月31日。

2 期間中に閉庁日がある場合は、その日数分提出期間を延長する。

(学位論文の評価基準)

第5条 学位論文は、次の各号の評価基準に基づき審査する。

- (1) テーマ設定の適切性
教育実践や教育科学に関わる課題意識が明確であり、論文のテーマが適切に設定されていること。
- (2) 学術的貢献
教育実践や教育科学のこれまでの成果を十分に踏まえ、その内容が教育諸問題に対処できる高度な見識を有するとともに、地域文化の向上に寄与できる専門的能力を有していることを示していること。
- (3) 論述の適切性
論文の記述が十分かつ適切であり、一貫した論理構成になっていること。
- (4) 研究の倫理
論文が捏造、改ざんのない公正なデータに基づき作成されていること。他者の論文からの剽窃がないこと。人間を対象とした実証研究を実施する際には、研究対象者の人権を尊重し、個人のプライバシーを侵害せず、研究対象者あるいは代諾者の同意を得ていること。

(学位論文の保存)

第6条 審査に合格した論文は、各専攻・コースに保存する。

(その他)

第7条 論文作成の細目については、各専攻・コースの定めるところによる。

2 執筆要項は、別に定める。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成26年6月2日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

別 表

グループ	専 攻	コース
Aグループ	教育支援科学専攻	
	教科教育専攻	言語文化コース
Bグループ	教科教育専攻	社会文化コース 科学文化コース 芸術文化コース 身体文化コース

5 学位論文執筆要項

制 定 平成16年 4月 1日
改 正 平成27年11月26日

山梨大学学位細則第3条（学位授与の要件）の規定に基づき、同細則第5条により修士の学位を申請しようとする者は、本学の関係諸規程の規定に従って行なう。学位論文に関する細則（以下「論文細則」という）第6条により、論文執筆の具体的事項については、この執筆要項により行う。

第1条（論文の提出）

論文の提出は論文細則第3条及び第4条に従って行う。

第2条（論文の体裁）

- ① 論文表紙は、教育学研究科支給のものを使用する。
- ② 教育学研究科支給の論文中表紙には、論文題目・学籍番号・氏名・指導教員名・修了予定年月日と本文資料等の枚数を含む事項を記載する。論文題目が日本語でないときは、括弧書きで日本語訳を併記する。ただし、指導教員名については、修士担当教員及び修士準担当教員を併記してよい。
- ③ 論文本文の用紙は、A4判あるいはB5判となるように考慮する。ただし、B4判用紙の袋とじによるB5判型も可とする。
- ④ 写真・図表等は、適宜本文と同じ大きさに折りたたんだ用紙等を利用して綴じ込む。用紙の選択・体裁・その他は、指導教員の指示に従う。
- ⑤ 本文は、原則として黒、図表等は、色の使用もよい。手書きの場合は、原則として楷書で書く。

第3条（論文要旨）

論文要旨は所定の用紙に2頁以内に納める。

第4条

詳細については、各専攻・コースの指示に従う。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成21年1月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年11月26日から施行する。

6 履修申告に関する細則

制 定 平成16年4月1日
改 正 平成21年1月1日

(総則)

第1条 山梨大学大学院教育学研究科規則（以下「研究科規則」という。）第7条及び第11条に定める授業科目の履修の申告に関しては、この細則の定めるところによる。

(申告方法)

第2条 履修申告は、各学期の始めの指定された期間に、行うものとする。

第3条 集中講義による科目の履修は、前条の規定にかかわらず、その都度、各授業科目ごとに「履修申告票」によって行うものとする。ただし、次条に定める教育実習と二重申告となる場合は集中講義の履修を認めない。

第4条 研究科規則第11条の規定による授業科目が教育実習の場合は、第2条の規定にかかわらず、教育学部履修規程「細則2 教育実習に関する細則」に準ずる。ただし、同細則第7条第1項は適用しない。

(申告の確認)

第5条 第2条により履修申告した者は「履修登録一覧表」により、申告内容を確認するものとする。

2 前項の「履修登録一覧表」に登録されていない授業科目については、履修を認めない。

(申告の修正)

第6条 履修申告の修正は、申告に誤りがあった場合又履修しようとする授業科目を変更したい場合に、指定された期間内に限り行うことができる。

2 履修人員の偏り、対象学年の相違等の理由により、授業担当教員から申告の修正を指示された者は、当該授業科目の履修申告を修正しなければならない。

(申告の特別措置)

第7条 外国の大学への留学との関連で、第2条の手続きができない者は、研究科長の承認を受けた科目を帰国後に履修することができる。

附 則

この細則は平成16年4月1日から施行する。

附 則

この細則は平成21年1月1日から施行する。

7 教育方法の特例による授業科目の履修申告に関する細則

制 定 平成16年4月1日
改 正 平成22年4月1日

(総則)

第1条 山梨大学大学院教育学研究科規則第13条に定める教育方法の特例による授業科目の履修申告(以下「申告」という。)に関しては、この細則の定めるところによる。

(申告の資格)

第2条 申告ができる者は、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置適用者として1年次に本研究科の認定を受けた者とする。ただし、研究科長が特別に指定した者は、研究科委員会の議を経て、申告の資格を認めることがある。

(申告できる授業科目)

第3条 申告できる授業科目は、専攻・コースの専門科目のみとする。

(申告できる受講時間帯等)

第4条 申告できる受講時間帯及び期間は、次のとおりとする。

- (1) 平日のV I時限(18時10分～19時40分)
- (2) 夏季・冬季の休業期間(土曜、日曜及び祝日等は除く。)

(申告の方法)

第5条 申告は、指導教員の指導のもとに計画し、2年次の各学期の始めの指定された期間に、別紙様式による教育方法の特例による授業科目履修申請書(以下「履修申請書」という。)を研究科長に提出することにより行う。

(申告の承認)

第6条 申告は、研究科長の承認を受けなければならない。

(申告の修正)

第7条 申告の修正は、指定された期間内に限り行うことができる。ただし、特別な事由がある場合は期間外であっても、授業担当教員の内諾を得て、書面(様式自由)によって研究科長に願い出ることができる。この場合、新たに作成した履修申請書を添えて、研究科長の承認を受けなければならない。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成22年4月1日から施行する。

8 山梨大学大学院研究生細則

制 定 平成28年 2月24日

(趣旨)

第1条 この細則は、山梨大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第43条第2項の規定に基づき、山梨大学大学院（以下「大学院」という。）の研究生について必要な事項を定める。

(入学の時期)

第2条 研究生の入学の時期は、学年又は学期の始めとする。ただし、医工農学総合教育部の次の専攻については、月の始めに入学させることができる。

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| 修士課程 | 生命医科学専攻
看護学専攻 |
| 4年博士課程 | 先進医療科学専攻
生体制御学専攻 |
| 3年博士課程 | ヒューマンヘルスケア学専攻
人間環境医工学専攻（生体環境学コース） |

(入学資格)

第3条 修士課程の研究生として入学することのできる者は、大学院学則第9条の規定に該当する者とする。

- 2 医工農学総合教育部4年博士課程の研究生として入学することのできる者は、大学院学則第10条の規定に該当する者とする。
- 3 医工農学総合教育部3年博士課程の研究生として入学することのできる者は、大学院学則第11条の規定に該当する者とする。

(入学の出願)

第4条 研究生として入学を志願しようとする者は、指導を受けようとする教員（以下「指導教員」という。）の承諾を得て、所定の期間内に次の各号に掲げる書類に検定料を添えて、教育学研究科又は医工農学総合教育部の長に願出するものとする。

- (1) 入学願書（所定の様式）
 - (2) 履歴書
 - (3) 最終学校の卒業証明書又は修了証明書
 - (4) 最終学校の成績証明書
 - (5) 健康診断書
 - (6) 推薦書（学校、企業等に勤務している者にとっては、その所属長の承認書）
 - (7) その他大学院が必要と認める書類
- 2 外国人は、前項に掲げる書類のほか、在留資格を証明できる書類を提出するものとする。ただし、国内に在留していない者は、入学後提出するものとする。

(入学者の選考)

第5条 研究生の選考は、それぞれ次の委員会又は教授会が行う。

- | |
|--------------|
| 教育学研究科 |
| 教育学研究科委員会 |
| 医工農学総合教育部 |
| 医工農学総合教育部教授会 |

(入学手続及び入学許可)

第6条 前条の規定により、研究生として選考された者は、所定の期日までに入学料及び授業料を納入するとともに、入学に必要な書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(研究期間)

第7条 研究生の研究期間は、1年以内とする。ただし、第2条ただし書きの規定により入学した者については、入学年度を超えないものとする。

2 研究期間が満了しても、なお引き続き研究に従事することを希望する者は、指導教員の承諾を得て、教育学研究科又は医工農学総合教育部の長を経由し学長に願い出るものとする。

(退学)

第8条 研究生は、途中で退学しようとするときは、指導教員の承諾を得た後、教育学研究科長又は医工農学総合教育部長の確認を経て学長の許可を受けなければならない。

(検定料等)

第9条 検定料、入学料及び授業料に関し必要な事項は、別に定める。

2 納入した検定料、入学料及び授業料は返還しない。

3 研究に要する経費は、研究生の負担とすることがある。

(証明書の交付)

第10条 教育学研究科又は医工農学総合教育部の長は、指導教員の認定により研究証明書を交付することができる。

(除籍)

第11条 学長は、指導教員が研究生として適当でないと認めた場合は、教育学研究科長又は医工農学総合教育部長の確認を経て、これを除籍することができる。

(諸規則等の準用)

第12条 この細則に定めるもののほか、大学院学則その他学内諸規則の学生に関する規程は、研究生にこれを準用する。

附 則

1 この細則は、平成28年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、施行日前に医学工学総合教育部に在学する者については、従前の例による。

3 山梨大学大学院研究生規程(平成16年4月1日制定)は廃止する。

9 山梨大学大学院科目等履修生細則

制 定 平成28年 2月24日
改 正 平成28年 9月 1日

(趣旨)

第1条 この細則は、山梨大学大学院学則第44条第2項の規定に基づき、山梨大学大学院（以下「大学院」という。）の科目等履修生について必要な事項を定める。

(入学の時期)

第2条 科目等履修生の入学の時期は、学年又は学期の始めとする。

(入学資格)

第3条 修士課程の科目等履修生として入学することのできる者は、大学院学則第9条の規定に該当する者とする。

2 医工農学総合教育部4年博士課程の科目等履修生として入学することのできる者は、大学院学則第10条の規定に該当する者とする。

3 医工農学総合教育部3年博士課程の科目等履修生として入学することのできる者は、大学院学則第11条の規定に該当する者とする。

(入学の出願)

第4条 科目等履修生として入学を志願する者は、あらかじめ授業科目担当教員（以下「授業科目担当教員」という。）の承諾を得て、所定の期間内に次の各号に掲げる書類に検定料を添えて、教育学研究科又は医工農学総合教育部の長に願い出るものとする。

(1) 入学願書（所定の様式）

(2) 履歴書

(3) 最終学校の卒業証明書又は修了証明書

(4) 最終学校の成績証明書

(5) 健康診断書

(6) 推薦書（学校、企業等に勤務している者にあつては、所属長の承認書）

(7) その他大学院が必要と認める書類

2 外国人は、前項に掲げる書類のほか、在留資格を証明できる書類を提出するものとする。ただし、国内に在留していない者は、入学後提出するものとする。

(入学者の選考)

第5条 科目等履修生の選考は、それぞれ次の委員会又は教授会が行う。

教育学研究科

教育学研究科委員会

医工農学総合教育部

医工農学総合教育部教授会

(入学手続及び入学許可)

第6条 前条の規定により、科目等履修生として選考された者は、所定の期日までに入学料及び授業料を納入するとともに、入学に必要な書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(履修期間)

第7条 科目等履修生の履修期間は、入学日の属する年度内とする。

(履修科目の制限)

第8条 科目等履修生が1年以内に修得できる単位数は、次のとおりとする。

- (1) 教育学研究科及び医工農学総合教育部修士課程にあつては20単位以内。ただし、生命医科学専攻及び看護学専攻にあつては10単位以内
- (2) 医工農学総合教育部4年博士課程にあつては10単位以内
- (3) 医工農学総合教育部3年博士課程にあつては8単位以内

(検定料等)

第9条 検定料、入学料及び授業料に関し必要な事項は、別に定める。

2 納入した検定料、入学料及び授業料は返還しない。

(証明書の交付)

第10条 教育学研究科又は医工農学総合教育部の長は、科目等履修生が所定の期間履修し、単位を修得した科目について証明書を交付する。

(除籍)

第11条 学長は、授業科目担当教員が科目等履修生として適当でないと認めた場合は、教育学研究科長、又は医工農学総合教育部長の確認を経て、これを除籍することができる。

(諸規則の準用)

第12条 この細則に定めるもののほか、大学院学則その他学内諸規則の学生に関する規定は、科目等履修生にこれを準用する。

附 則

- 1 この細則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、施行日前に医学工学総合教育部に在学する者については、従前の例による。
- 3 山梨大学大学院科目等履修生規程（平成16年4月1日制定）は廃止する。

附 則

この細則は、平成28年9月1日から施行する。

10 山梨大学大学院特別研究学生交流細則

制 定 平成28年 2月24日

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第24条の規定に基づき、他の大学の大学院又は研究所等（外国の大学の大学院又は研究所等を含む。以下「他大学院等」という。）において、研究指導を受ける者（以下「特別研究派遣学生」という。）及び大学院学則第45条の規定に基づき、他の大学の大学院の学生で、山梨大学（以下「本学」という。）の大学院において研究指導を受けようとする者（以下「特別研究学生」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(他大学院等との協議)

第2条 大学院学則第24条及び第45条の規定に基づく本学大学院と他大学院等との協議は、次に掲げる事項について、教育学研究科委員会又は医工農学総合教育部教授会（以下「研究科委員会等」という。）の議を経て、教育学研究科長又は医工農学総合教育部長（以下「研究科長等」という。）が行うものとする。

- (1) 研究題目
- (2) 学生数
- (3) 研究指導を行う期間
- (4) その他必要な事項

第2章 特別研究派遣学生

(出願手続)

第3条 特別研究派遣学生として他大学院等の研究指導を受けることを志願する者は、所定の願書を研究科長等に提出しなければならない。

(研究指導の承認)

第4条 前条の出願があったときは、研究科委員会等の議を経て、第2条に規定する協議に基づき、研究科長等が許可し、学長に報告するものとする。

(研究指導期間)

第5条 特別研究派遣学生の研究指導を受ける期間は、1年以内とする。ただし、医工農学総合教育部4年博士課程及び3年博士課程に在籍する学生で、教育研究上有益と認められたときは、研究科委員会等の議を経て、他大学院等と協議の上、研究指導を受ける期間の延長を許可することがある。

2 前項の研究指導を受ける期間は、通算して2年を超えることができない。

(修業年限及び在学年限の取扱い)

第6条 特別研究派遣学生としての研究指導を受ける期間は、大学院学則第18条に規定する標準修業年限及び大学院学則第19条に規定する在学年限に算入する。

(研究報告)

第7条 特別研究派遣学生は、他大学院等において研究指導が終了したときは、直ちに（外国の大学院等で研究指導を受けた者にとっては、帰国の日から1月以内）研究科長等に研究終了報告書を提出しなければならない。

(研究指導の承認の取消し)

第8条 研究科長等は、特別研究派遣学生が次の各号の一に該当するときは、研究科委員会等の議を経て、他大学院等と協議の上、研究指導の承認を取り消すことがある。

- (1) 本学又は他大学院等の規則等に違反したとき。
- (2) その他派遣の趣旨に反する行為があると認められたとき。

第3章 特別研究学生

(出願手続)

第9条 特別研究学生として本学大学院において研究指導を受けようとする者は、次の各号に掲げる書類を本学大学院が別に定める期間内に、所属する他大学院等の長を経て、研究科長等に提出しなければならない。

- (1) 特別研究学生入学願
- (2) 学業成績証明書
- (3) 所属する大学院の長の推薦書
- (4) 健康診断書

(入学の許可)

第10条 他大学院等から特別研究学生の受入れについて依頼があったときは、第2条に規定する協議に基づき、選考の上、研究科委員会等の意見を聴いて、学長が入学を許可するものとする。

(研究指導状況報告書の交付)

第11条 研究科長等は、所定の研究指導を終了した特別研究学生で研究指導状況報告書の交付を希望する場合は、研究指導状況報告書を交付する。

(検定料、入学料及び授業料)

第12条 特別研究学生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

2 次の各号の一に該当する特別研究学生の授業料は、徴収しない。

- (1) 国立大学の大学院の学生である場合
- (2) 大学間交流協定に基づく外国人留学生に対する授業料等の不徴収実施要項（平成3年4月11日文科省学術国際局長裁定）に基づき協定を締結した大学からの外国人留学生である場合
- (3) 大学間特別研究学生交流協定に基づく授業料の相互不徴収実施要項（平成10年3月10日文科省学術国際局長裁定）に基づき協定を締結した公立大学又は私立大学の大学院の学生である場合

3 既納の授業料は返還しない。

(実験、実習等の費用)

第13条 実験、実習等に要する費用は、特別研究学生に負担させることがある。

(準用規定)

第14条 第5条及び第8条の規定は、特別研究学生について準用する。この場合において、第5条及び第8条中「特別研究派遣学生」とあるのは「特別研究学生」と読み替えるものとする。

2 この規則に定めるもののほか、特別研究学生に関し必要な事項は、山梨大学学則及び大学院学則の規程を準用する。

附 則

1 この細則は、平成28年4月1日から施行する。

- 2 前項の規定にかかわらず、施行日前に医学工学総合教育部に在学する者については、従前の例による。
- 3 山梨大学大学院特別研究学生交流規則（平成16年4月1日制定）は廃止する。

1 1 山梨大学外国人留学生細則

制 定 平成28年 2月24日

(趣旨)

第1条 この細則は、山梨大学学則（以下「学則」という。）第44条第2項及び山梨大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第47条第3項の規程に基づき、外国人留学生に関する必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）別表第1に定める「留学」の在留資格により、本学に入学を許可された者をいう。

(区分)

第3条 外国人留学生の区分は、次のとおりとする。

- (1) 学部学生
- (2) 大学院学生
- (3) 専攻科学生
- (4) 研究生
- (5) 科目等履修生
- (6) 特別聴講学生
- (7) 特別研究学生

(入学の時期)

第4条 外国人留学生の入学の時期は、原則として学年又は学期の初めとする。ただし、研究生については、月の始めとすることができる。

(入学資格)

第5条 外国人留学生の入学資格は、第3条の区分に応じ、それぞれ学則、大学院学則、山梨大学専攻科規則、山梨大学研究生細則、山梨大学大学院研究生細則、山梨大学科目等履修生細則、山梨大学大学院科目等履修生細則の定めるところによる。

(入学出願の手続)

第6条 外国人留学生として入学を志願する者は、所定の書類に検定料を添え、学長に願い出なければならぬ。

(合格者の選考)

第7条 合格者の選考は、学力、人物、健康等のほか、修学に必要な語学力について行う。

2 前項の選考結果による合格者の決定は、当該学部の教授会、又は研究科委員会の意見を聴いて、学長が行う。

(国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生の受入れ)

第8条 国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生の受入れについては、第6条及び第7条の規定にかかわらず、文部科学省からの依頼に基づき、当該学部、又は研究科委員会の意見を聴いて学長が決定する。

(特別聴講学生及び特別研究学生の受入れ)

第9条 特別聴講学生及び特別研究学生の受入れについては、第6条及び第7条の規定にかかわらず、それぞれ山梨大学学生交流細則、山梨大学大学院特別研究学生交流細則の定めるところによる。

(入学手続)

第10条 第7条の選考に合格した者、第8条及び第9条の規定により受入を許可された者は、所定の期日までに入学料及び授業料を納入するとともに、所定の書類を提出しなければならない。

(入学許可)

第11条 学長は、前条の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(検定料等の特例)

第12条 国費外国人留学生の検定料、入学料及び授業料（以下「検定料等」という。）は徴収しない。

2 前項のほか、授業料を不徴収とする旨の大学間交流協定、学部間交流協定を締結した外国の大学からの外国人留学生の検定料等は徴収しない。

(学則等の準用)

第13条 この細則に定めるもののほか、外国人留学生に関して必要な事項は、学則、大学院学則及びその他学内規程等の学生に関する規定を準用する。

附 則

- 1 この細則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 山梨大学外国人留学生規則（平成16年4月1日制定）は廃止する。

Ⅱ 履修案内

1 修了の要件

修士課程においては、教育学研究科規則第6条の表に定める30単位以上を修得し、修士論文審査及び最終試験に合格するものとする。

教職大学院の課程においては、46単位以上を修得するものとする。

2 指導教員の届出

- (1) 学生は、入学年度前期の履修申告までに指導教員を届け出なければならない。
- (2) 指導教員を変更するときは、当該教員の承認を受けて、入学年度後期の履修申告までに届け出なければならない。
- (3) 指導教員は修士担当教員とする。

3 履修授業科目の届出

- (1) 履修授業科目の届け出は、各学期の始めの指定された期間に、届け出なければならない。
- (2) 前項により履修授業科目を届け出たものは、「履修申告確認表」を受理して申告内容を確認するものとする。
- (3) 前項の「履修申告確認表」に登録されていない授業科目については、履修を認めない。
- (4) 履修授業科目の届出の修正は、届出に誤りがあった場合又は履修しようとする授業科目を変更したい場合に、指定された期間内に限り行うことができる。
- (5) 授業担当教員から届出の修正を指示された者は、当該授業科目の届出を修正しなければならない。
- (6) 研究指導教員が必要と認めた場合で、教育学研究科以外の授業科目を履修するときは、指定された期間に、所定の様式により願い出なければならない。

4 教育方法の特例

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置の適用を希望する現職教員等に対しては、高等教育を受ける機会を拡大するための措置を以下の条件に基づいて、次のとおり実施する。

- (1) 特例による教育方法の適用者の資格
 - ① 3年以上の教職経験（実習助手の期間は教職歴に含まれない）を有し、現に学校または教育関係機関に専任として在職していること。

② 派遣母体である県教育委員会または学校法人等が該当者に対して、本特例の適用を希望していること。

③ 本人が特例の適用を希望し、さらに本特例の実施により研究の効果が期待されると考えられること。

(2) 適用について前提となる条件

① 1年次にあっては、在職校を離れて本研究科において研究及び授業科目を履修し、修士課程においては、課程修了に必要な30単位のうち、22単位以上を修得していること。教職大学院の課程においては、課程修了に必要な46単位のうち、32単位以上を修得していること。

② 2年次においては、定期的に本研究科に登校して、授業を受け、研究指導を受けることができること。

(3) 適用による履修の実施方法

① 2年次で履修する単位は、以下のとおりとする。

・修士課程においては、課題研究4単位を含めて履修する。

・教職大学院の課程においては、課題研究2単位、実習5単位を含めて履修する。

② 2年次においては、在職校の事情等を考慮して、通常の授業時間帯のほか、VI時限目（18時10分～19時40分）、また夏季・冬季の休業期間に授業（専攻・コースの専門科目）及び研究指導を受けることができる。

③ 2年次の授業等の履修にあたっては、指導教員の指導のもとに計画し、1年次の終了までに決定する。

④ VI時限目（18時10分～19時40分）、また夏季・冬季の休業期間に授業（専攻・コースの専門科目）を受ける場合は、「教育方法の特例による授業科目履修申請書」により、研究科長の承認を受けなければならない。申請書の提出は、通常の履修申告と同じ各学期の始めの指定された期間とする。

(4) 実施上の手続

この特例の適用を希望する者は、あらかじめ入学を志願する際にその旨を申し出ること。適用の可否は本研究科で認定する。

5 教育職員免許状取得基準

(1) 専修免許状の取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数

専修免許状の取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数は、次の表のとおりとする。ただし、取得しようとする免許状（中学校及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教

科)の一種免許状を取得しているかもしくは一種免許状の所要資格を有していることが必要である。

なお、各専攻・コースで認定を受けている免許状の種類および教科(領域)については、30ページの別表2を参照すること。

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数	科目の区分
幼稚園教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	教科又は教職に関する科目
小学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	教科又は教職に関する科目
中学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	教科又は教職に関する科目
高等学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	教科又は教職に関する科目
特別支援学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること	24	特別支援教育に関する科目

- (2) 教育学研究科規則第20条の規定に基づき教育職員免許状を取得する場合は、次頁以降に記載されている各専修免許状の種類・教科毎の授業科目を24単位以上修得するものとする。

目 次

①小学校教諭専修免許状	4 9
②中学校教諭専修免許状（国語）・高等学校教諭専修免許状（国語）	5 5
③中学校教諭専修免許状（社会）	5 7
④中学校教諭専修免許状（数学）・高等学校教諭専修免許状（数学）	5 9
⑤中学校教諭専修免許状（理科）・高等学校教諭専修免許状（理科）	6 1
⑥中学校教諭専修免許状（音楽）・高等学校教諭専修免許状（音楽）	6 3
⑦中学校教諭専修免許状（美術）・高等学校教諭専修免許状（美術）	6 5
⑧中学校教諭専修免許状（保健体育）・高等学校教諭専修免許状（保健体育）	6 7
⑨中学校教諭専修免許状（保健）・高等学校教諭専修免許状（保健）	6 9
⑩中学校教諭専修免許状（技術）	7 0
⑪中学校教諭専修免許状（家庭）・高等学校教諭専修免許状（家庭）	7 2
⑫中学校教諭専修免許状（英語）・高等学校教諭専修免許状（英語）	7 4
⑬高等学校教諭専修免許状（地理歴史）	7 6
⑭高等学校教諭専修免許状（公民）	7 7
⑮高等学校教諭専修免許状（工芸）	7 9
⑯高等学校教諭専修免許状（書道）	8 1
⑰高等学校教諭専修免許状（商業）	8 3
⑱特別支援学校教諭専修免許状	8 4
⑲幼稚園教諭専修免許状	8 5

①小学校教諭専修免許状

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究 I	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		
		541035	認知心理学特論	2		
		541036	認知心理学特論演習	2		
		541041	教育内容特論	2		
		541042	教育内容特論演習	2		
教科教育専攻 言語文化コース	教科に関する科目	542021	国語学特論 I	2		
		542022	国語学特論演習 I	2		
		542023	国語学特論 II	2		
		542024	国語学特論演習 II	2		
		542031	古典文学特論 I	2		
		542032	古典文学特論演習 I	2		
		542033	古典文学特論 II	2		
		542034	古典文学特論演習 II	2		
		542035	近代文学特論	2		
		542036	近代文学特論演習	2		
		542041	漢文学特論	2		

		542042	漢文学特論演習	2			
		542061	書写・書道特論	2			
		542062	書写・書道特論演習	2			
		542911	課題研究 1 (国語教育)	2			
		542912	課題研究 2 (国語教育)	4			
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2			
		542001	言語文化教育学研究 I	2			
		542011	国語科教育学特論 I	2			
		542012	国語科教育学特論演習 I	2			
		542013	国語科教育学特論 II	2			
		542014	国語科教育学特論演習 II	2			
	教科教育専攻 社会文化コース	教科に関する科目	543021	日本史特論	2		
			543022	日本史特論演習	2		
			543023	外国史特論	2		
			543024	外国史特論演習	2		
543031			地理学特論	2			
543032			地理学特論演習	2			
543041			政治学特論 I	2			
543042			政治学特論演習 I	2			
543043			政治学特論 II	2			
543044			政治学特論演習 II	2			
543047			法学特論 I	2			
543048			法学特論演習 I	2			
543049			法学特論 II	2			
543050			法学特論演習 II	2			
543053			経済学特論 I	2			
543054			経済学特論演習 I	2			
543055			経済学特論 II	2			
543056			経済学特論演習 II	2			
543063			社会学特論	2			
543064			社会学特論演習	2			
543071	哲学特論 I	2					
543072	哲学特論演習 I	2					
543091	食物学特論	2					

		543092	食物学特論演習	2		
		543101	被服学特論	2		
		543102	被服学特論演習	2		
		543111	住居学特論	2		
		543112	住居学特論演習	2		
		543121	家庭経営学特論	2		
		543122	家庭経営学特論演習	2		
		543131	保育学特論	2		
		543132	保育学特論演習	2		
		543911	課題研究 1 (社会科教育)	2		
		543912	課題研究 2 (社会科教育)	4		
		543921	課題研究 1 (家政教育)	2		
		543922	課題研究 2 (家政教育)	4		
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		543001	社会文化教育学研究Ⅰ	2		
		543002	社会文化教育学研究Ⅱ	2		
		543011	社会科教育学特論Ⅰ	2		
		543012	社会科教育学特論演習Ⅰ	2		
		543013	社会科教育学特論Ⅱ	2		
		543014	社会科教育学特論演習Ⅱ	2		
		543081	家庭科教育学特論	2		
		543082	家庭科教育学特論演習	2		
教科教育専攻 科学文化コース	教科に関する科目	544023	代数学特論Ⅰ	2		
		544024	代数学特論演習Ⅰ	2		
		544025	代数学特論Ⅱ	2		
		544026	代数学特論演習Ⅱ	2		
		544031	幾何学特論	2		
		544032	幾何学特論演習	2		
		544041	解析学特論Ⅰ	2		
		544042	解析学特論演習Ⅰ	2		
		544043	解析学特論Ⅱ	2		
		544044	解析学特論演習Ⅱ	2		
		544061	物理学特論Ⅰ	2		
		544062	物理学特論演習Ⅰ	2		

		544063	物理学特論Ⅱ	2		
		544064	物理学特論演習Ⅱ	2		
		544071	化学特論Ⅰ	2		
		544072	化学特論演習Ⅰ	2		
		544073	化学特論Ⅱ	2		
		544074	化学特論演習Ⅱ	2		
		544081	生物学特論Ⅰ	2		
		544082	生物学特論演習Ⅰ	2		
		544083	生物学特論Ⅱ	2		
		544084	生物学特論演習Ⅱ	2		
		544085	生物学特論Ⅲ	2		
		544086	生物学特論演習Ⅲ	2		
		544091	地球科学特論Ⅰ	2		
		544092	地球科学特論演習Ⅰ	2		
		544093	地球科学特論Ⅱ	2		
		544094	地球科学特論演習Ⅱ	2		
		544095	地球科学特論Ⅲ	2		
		544096	地球科学特論演習Ⅲ	2		
		544911	課題研究 1 (数学教育)	2		
		544912	課題研究 2 (数学教育)	4		
		544921	課題研究 1 (理科教育)	2		
		544922	課題研究 2 (理科教育)	4		
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		544001	科学文化教育学研究Ⅰ	2		
		544011	数学科教育学特論	2		
		544012	数学科教育学特論演習	2		
		544053	理科教育学特論Ⅰ	2		
		544054	理科教育学特論演習Ⅰ	2		
		544055	理科教育学特論Ⅱ	2		
		544056	理科教育学特論演習Ⅱ	2		
教科教育専攻 芸術文化コース	教科に関する科目	545023	器楽特論Ⅰ	2		
		545024	器楽特論演習Ⅰ	2		
		545025	器楽特論Ⅱ	2		
		545026	器楽特論演習Ⅱ	2		

		545031	声楽特論	2		
		545032	声楽特論演習	2		
		545041	作曲特論	2		
		545042	作曲特論演習	2		
		545051	音楽学特論	2		
		545052	音楽学特論演習	2		
		545071	絵画特論	2		
		545072	絵画特論演習	2		
		545077	彫刻特論	2		
		545078	彫刻特論演習	2		
		545081	デザイン特論	2		
		545082	デザイン特論演習	2		
		545101	美術理論・美術史特論	2		
		545102	美術理論・美術史特論演習	2		
		545911	課題研究1（音楽教育）	2		
		545912	課題研究2（音楽教育）	4		
		545921	課題研究1（美術教育）	2		
		545922	課題研究2（美術教育）	4		
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		545001	芸術文化教育学研究Ⅰ	2		
		545002	芸術文化教育学研究Ⅱ	2		
		545011	音楽科教育学特論Ⅰ	2		
		545012	音楽科教育学特論演習Ⅰ	2		
		545013	音楽科教育学特論Ⅱ	2		
		545014	音楽科教育学特論演習Ⅱ	2		
		545061	美術科教育学特論Ⅰ	2		
		545062	美術科教育学特論演習Ⅰ	2		
		545063	美術科教育学特論Ⅱ	2		
		545064	美術科教育学特論演習Ⅱ	2		
教科教育専攻 身体文化コース	教科に関する科目	546021	体育学特論	2		
		546022	体育学特論演習	2		
		546023	体育心理学特論	2		
		546024	体育心理学特論演習	2		
		546031	運動学特論	2		

		546032	運動学特論演習	2			
		546033	野外運動学特論	2			
		546034	野外運動学特論演習	2			
		546035	舞踊学特論	2			
		546036	舞踊学特論演習	2			
		546041	健康管理学特論	2			
		546042	健康管理学特論演習	2			
		546043	健康科学特論	2			
		546044	健康科学特論演習	2			
		546911	課題研究1（保健体育）	2			
		546912	課題研究2（保健体育）	4			
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2			
		546001	身体文化教育学研究Ⅰ	2			
		546002	身体文化教育学研究Ⅱ	2			
		546013	保健体育科教育学特論Ⅰ	2			
		546014	保健体育科教育学特論演習Ⅰ	2			
		546015	保健体育科教育学特論Ⅱ	2			
	教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
			550003	授業研究マネジメント論	2	◎	
			550004	授業創造の心理学	2	◎	
550005			子ども援助の実践的課題	2	◎		
550007			学校組織経営論	2	◎		
550008			学校改善論	2	◎		
550009			現代学校論	2	◎		
550010			現代教員論	2	◎		
550101			学校危機管理論	2			
550102			科学的リテラシー教育革新論	2	◎		
550201			子どものエンパワーメント論	2	◎		
550202			山梨の学校改革	2			
550203			学校・教員評価論	2			
550204			理数学力評価論	2			
550206	言語学習開発論	2					
550207	教育実践演習	2					

		550208	教科教育特論	2		
		550211	教育実践フィールドワーク論	2		

②中学校教諭専修免許状（国語）・高等学校教諭専修免許状（国語）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必 選	備 考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究 I	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		
		541035	認知心理学特論	2		
		541036	認知心理学特論演習	2		
		541041	教育内容特論	2		
		541042	教育内容特論演習	2		
541043	情報教育特論	2				
541044	情報教育特論演習	2				
教科教育専攻 言語文化コース	教科に関する科目	542021	国語学特論 I	2		
		542022	国語学特論演習 I	2		
		542023	国語学特論 II	2		
		542024	国語学特論演習 II	2		

		542031	古典文学特論 I	2			
		542032	古典文学特論演習 I	2			
		542033	古典文学特論 II	2			
		542034	古典文学特論演習 II	2			
		542035	近代文学特論	2			
		542036	近代文学特論演習	2			
		542041	漢文学特論	2			
		542042	漢文学特論演習	2			
		542061	書写・書道特論	2			
		542062	書写・書道特論演習	2			
		542911	課題研究 1 (国語教育)	2			
		542912	課題研究 2 (国語教育)	4			
		教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
	542001		言語文化教育学研究 I	2			
	542011		国語科教育学特論 I	2			
	542012		国語科教育学特論演習 I	2			
	542013		国語科教育学特論 II	2			
	542014		国語科教育学特論演習 II	2			
	教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
			550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
			550004	授業創造の心理学	2	◎	
			550005	子ども援助の実践的課題	2	◎	
			550007	学校組織経営論	2	◎	
550008			学校改善論	2	◎		
550009			現代学校論	2	◎		
550010			現代教員論	2	◎		
550101			学校危機管理論	2			
550102			科学的リテラシー教育革新論	2	◎		
550201			子どものエンパワーメント論	2	◎		
550202			山梨の学校改革	2			
550203			学校・教員評価論	2			
550205			理数学習教材開発論	2			
550206	言語学習開発論	2					
550207	教育実践演習	2					

		550208	教科教育特論	2		
		550211	教育実践フィールドワーク論	2		

③中学校教諭専修免許状（社会）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必 選	備 考		
		科目番号	授業科目名					
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2				
		541001	教育支援科学研究 I	2				
		541011	比較教育学特論	2				
		541012	比較教育学特論演習	2				
		541013	日本教育史特論	2				
		541014	日本教育史特論演習	2				
		541015	教育経営特論	2				
		541016	教育経営特論演習	2				
		541021	教育心理学特論	2				
		541022	教育心理学特論演習	2				
		541023	教育相談特論	2				
		541024	教育相談特論演習	2				
		541031	臨床心理学特論	2				
		541032	臨床心理学特論演習	2				
		541033	社会心理学特論	2				
		541034	社会心理学特論演習	2				
		541035	認知心理学特論	2				
		541036	認知心理学特論演習	2				
		教科教育専攻 社会文化コース	教科に関する科目	541041	教育内容特論	2		
				541042	教育内容特論演習	2		
541043	情報教育特論			2				
541044	情報教育特論演習			2				
543021	日本史特論			2				
543022	日本史特論演習			2				
543023	外国史特論			2				

		543024	外国史特論演習	2		
		543031	地理学特論	2		
		543032	地理学特論演習	2		
		543041	政治学特論 I	2		
		543042	政治学特論演習 I	2		
		543043	政治学特論 II	2		
		543044	政治学特論演習 II	2		
		543047	法学特論 I	2		
		543048	法学特論演習 I	2		
		543049	法学特論 II	2		
		543050	法学特論演習 II	2		
		543053	経済学特論 I	2		
		543054	経済学特論演習 I	2		
		543055	経済学特論 II	2		
		543056	経済学特論演習 II	2		
		543063	社会学特論	2		
		543064	社会学特論演習	2		
		543071	哲学特論 I	2		
		543072	哲学特論演習 I	2		
		543911	課題研究 1 (社会科教育)	2		
		543912	課題研究 2 (社会科教育)	4		
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
	教職に関する科目	543001	社会文化教育学研究 I	2		
	教職に関する科目	543011	社会科教育学特論 I	2		
	教職に関する科目	543012	社会科教育学特論演習 I	2		
	教職に関する科目	543013	社会科教育学特論 II	2		
	教職に関する科目	543014	社会科教育学特論演習 II	2		
教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
	教職に関する科目	550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
	教職に関する科目	550004	授業創造の心理学	2	◎	
	教職に関する科目	550005	子ども援助の実践的課題	2	◎	
	教職に関する科目	550007	学校組織経営論	2	◎	
	教職に関する科目	550008	学校改善論	2	◎	

	550009	現代学校論	2	◎	
	550010	現代教員論	2	◎	
	550101	学校危機管理論	2		
	550102	科学的リテラシー教育革新論	2	◎	
	550201	子どものエンパワーメント論	2	◎	
	550202	山梨の学校改革	2		
	550203	学校・教員評価論	2		
	550205	理数学習教材開発論	2		
	550206	言語学習開発論	2		
	550207	教育実践演習	2		
	550208	教科教育特論	2		
	550211	教育実践フィールドワーク論	2		

④中学校教諭専修免許状（数学）・高等学校教諭専修免許状（数学）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究Ⅰ	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		

		541035	認知心理学特論	2			
		541036	認知心理学特論演習	2			
		541041	教育内容特論	2			
		541042	教育内容特論演習	2			
		541043	情報教育特論	2			
		541044	情報教育特論演習	2			
教科教育専攻 科学文化コース	教科に関する科目	544023	代数学特論 I	2			
		544024	代数学特論演習 I	2			
		544025	代数学特論 II	2			
		544026	代数学特論演習 II	2			
		544031	幾何学特論	2			
		544032	幾何学特論演習	2			
		544041	解析学特論 I	2			
		544042	解析学特論演習 I	2			
		544043	解析学特論 II	2			
		544044	解析学特論演習 II	2			
		544911	課題研究 1 (数学教育)	2			
		544912	課題研究 2 (数学教育)	4			
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2			
		544001	科学文化教育学研究 I	2			
		544011	数学科教育学特論	2			
		544012	数学科教育学特論演習	2			
	教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
			550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
550004			授業創造の心理学	2	◎		
550005			子ども援助の実践的課題	2	◎		
550007			学校組織経営論	2	◎		
550008			学校改善論	2	◎		
550009			現代学校論	2	◎		
550010			現代教員論	2	◎		
550101			学校危機管理論	2			
550102			科学的リテラシー教育革新論	2	◎		
550201			子どものエンパワーメント論	2	◎		
550202			山梨の学校改革	2			

	550203	学校・教員評価論	2		
	550205	理数学習教材開発論	2		
	550206	言語学習開発論	2		
	550207	教育実践演習	2		
	550208	教科教育特論	2		
	550211	教育実践フィールドワーク論	2		

⑤中学校教諭専修免許状（理科）・高等学校教諭専修免許状（理科）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究Ⅰ	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		
		541035	認知心理学特論	2		
		541036	認知心理学特論演習	2		
		541041	教育内容特論	2		
		541042	教育内容特論演習	2		
541043	情報教育特論	2				
541044	情報教育特論演習	2				

教科教育専攻 科学文化コース	教科に関する科目	544061	物理学特論Ⅰ	2		
		544062	物理学特論演習Ⅰ	2		
		544063	物理学特論Ⅱ	2		
		544064	物理学特論演習Ⅱ	2		
		544071	化学特論Ⅰ	2		
		544072	化学特論演習Ⅰ	2		
		544073	化学特論Ⅱ	2		
		544074	化学特論演習Ⅱ	2		
		544081	生物学特論Ⅰ	2		
		544082	生物学特論演習Ⅰ	2		
		544083	生物学特論Ⅱ	2		
		544084	生物学特論演習Ⅱ	2		
		544085	生物学特論Ⅲ	2		
		544086	生物学特論演習Ⅲ	2		
		544091	地球科学特論Ⅰ	2		
		544092	地球科学特論演習Ⅰ	2		
		544093	地球科学特論Ⅱ	2		
		544094	地球科学特論演習Ⅱ	2		
		544095	地球科学特論Ⅲ	2		
		544096	地球科学特論演習Ⅲ	2		
		544921	課題研究1（理科教育）	2		
	544922	課題研究2（理科教育）	4			
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		544001	科学文化教育学研究Ⅰ	2		
		544053	理科教育学特論Ⅰ	2		
		544054	理科教育学特論演習Ⅰ	2		
		544055	理科教育学特論Ⅱ	2		
		544056	理科教育学特論演習Ⅱ	2		
	教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎
550002			カリキュラムのマネジメント	2	◎	
550004			授業創造の心理学	2	◎	
550005			子ども援助の実践的課題	2	◎	
550007			学校組織経営論	2	◎	
550008			学校改善論	2	◎	

	550009	現代学校論	2	◎	
	550010	現代教員論	2	◎	
	550101	学校危機管理論	2		
	550102	科学的リテラシー教育革新論	2	◎	
	550201	子どものエンパワーメント論	2	◎	
	550202	山梨の学校改革	2		
	550203	学校・教員評価論	2		
	550205	理数学習教材開発論	2		
	550206	言語学習開発論	2		
	550207	教育実践演習	2		
	550208	教科教育特論	2		
	550211	教育実践フィールドワーク論	2		

⑥中学校教諭専修免許状（音楽）・高等学校教諭専修免許状（音楽）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必 選	備 考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究 I	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
541034	社会心理学特論演習	2				

		541035	認知心理学特論	2			
		541036	認知心理学特論演習	2			
		541041	教育内容特論	2			
		541042	教育内容特論演習	2			
		541043	情報教育特論	2			
		541044	情報教育特論演習	2			
教科教育専攻 芸術文化コース	教科に関する科目	545023	器楽特論Ⅰ	2			
		545024	器楽特論演習Ⅰ	2			
		545025	器楽特論Ⅱ	2			
		545026	器楽特論演習Ⅱ	2			
		545031	声楽特論	2			
		545032	声楽特論演習	2			
		545041	作曲特論	2			
		545042	作曲特論演習	2			
		545051	音楽学特論	2			
		545052	音楽学特論演習	2			
		545911	課題研究1（音楽教育）	2			
		545912	課題研究2（音楽教育）	4			
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2			
		545001	芸術文化教育学研究Ⅰ	2			
		545011	音楽科教育学特論Ⅰ	2			
		545012	音楽科教育学特論演習Ⅰ	2			
		545013	音楽科教育学特論Ⅱ	2			
		545014	音楽科教育学特論演習Ⅱ	2			
	教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
			550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
550004			授業創造の心理学	2	◎		
550005			子ども援助の実践的課題	2	◎		
550007			学校組織経営論	2	◎		
550008			学校改善論	2	◎		
550009			現代学校論	2	◎		
550010			現代教員論	2	◎		
550101			学校危機管理論	2			
550102			科学的リテラシー教育革新論	2	◎		

	550201	子どものエンパワーメント論	2	◎	
	550202	山梨の学校改革	2		
	550203	学校・教員評価論	2		
	550205	理数学習教材開発論	2		
	550206	言語学習開発論	2		
	550207	教育実践演習	2		
	550208	教科教育特論	2		
	550211	教育実践フィールドワーク論	2		

⑦中学校教諭専修免許状（美術）・高等学校教諭専修免許状（美術）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究 I	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		
		541035	認知心理学特論	2		
		541036	認知心理学特論演習	2		
	541041	教育内容特論	2			
	541042	教育内容特論演習	2			

		541043	情報教育特論	2		
		541044	情報教育特論演習	2		
教科教育専攻 芸術文化コース	教科に関する科目	545071	絵画特論	2		
		545072	絵画特論演習	2		
		545077	彫刻特論	2		
		545078	彫刻特論演習	2		
		545081	デザイン特論	2		
		545082	デザイン特論演習	2		
		545101	美術理論・美術史特論	2		
		545102	美術理論・美術史特論演習	2		
		545921	課題研究1（美術教育）	2		
		545922	課題研究2（美術教育）	4		
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		545002	芸術文化教育学研究Ⅱ	2		
		545061	美術科教育学特論Ⅰ	2		
		545062	美術科教育学特論演習Ⅰ	2		
545063		美術科教育学特論Ⅱ	2			
545064		美術科教育学特論演習Ⅱ	2			
教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
		550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
		550004	授業創造の心理学	2	◎	
		550005	子ども援助の実践的課題	2	◎	
		550007	学校組織経営論	2	◎	
		550008	学校改善論	2	◎	
		550009	現代学校論	2	◎	
		550010	現代教員論	2	◎	
		550101	学校危機管理論	2		
		550102	科学的リテラシー教育革新論	2	◎	
		550201	子どものエンパワーメント論	2	◎	
		550202	山梨の学校改革	2		
		550203	学校・教員評価論	2		
		550205	理数学習教材開発論	2		
		550206	言語学習開発論	2		
550207	教育実践演習	2				

		550208	教科教育特論	2		
		550211	教育実践フィールドワーク論	2		

⑧中学校教諭専修免許状（保健体育）・高等学校教諭専修免許状（保健体育）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必 選	備 考		
		科目番号	授業科目名					
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2				
		541001	教育支援科学研究 I	2				
		541011	比較教育学特論	2				
		541012	比較教育学特論演習	2				
		541013	日本教育史特論	2				
		541014	日本教育史特論演習	2				
		541015	教育経営特論	2				
		541016	教育経営特論演習	2				
		541021	教育心理学特論	2				
		541022	教育心理学特論演習	2				
		541023	教育相談特論	2				
		541024	教育相談特論演習	2				
		541031	臨床心理学特論	2				
		541032	臨床心理学特論演習	2				
		541033	社会心理学特論	2				
		541034	社会心理学特論演習	2				
		541035	認知心理学特論	2				
		541036	認知心理学特論演習	2				
		教科教育専攻 身体文化コース	教科に関する科目	546021	体育学特論	2		
				546022	体育学特論演習	2		
546023	体育心理学特論			2				
546024	体育心理学特論演習			2				

		546031	運動学特論	2		
		546032	運動学特論演習	2		
		546033	野外運動学特論	2		
		546034	野外運動学特論演習	2		
		546035	舞踊学特論	2		
		546036	舞踊学特論演習	2		
		546041	健康管理学特論	2		
		546042	健康管理学特論演習	2		
		546043	健康科学特論	2		
		546044	健康科学特論演習	2		
		546911	課題研究1（保健体育）	2		
		546912	課題研究2（保健体育）	4		
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
	教職に関する科目	546001	身体文化教育学研究Ⅰ	2		
	教職に関する科目	546002	身体文化教育学研究Ⅱ	2		
	教職に関する科目	546013	保健体育科教育学特論Ⅰ	2		
	教職に関する科目	546014	保健体育科教育学特論演習Ⅰ	2		
	教職に関する科目	546015	保健体育科教育学特論Ⅱ	2		
	教職に関する科目	546016	保健体育科教育学特論演習Ⅱ	2		
教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
	教職に関する科目	550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
	教職に関する科目	550004	授業創造の心理学	2	◎	
	教職に関する科目	550005	子ども援助の実践的課題	2	◎	
	教職に関する科目	550007	学校組織経営論	2	◎	
	教職に関する科目	550008	学校改善論	2	◎	
	教職に関する科目	550009	現代学校論	2	◎	
	教職に関する科目	550010	現代教員論	2	◎	
	教職に関する科目	550101	学校危機管理論	2		
	教職に関する科目	550102	科学的リテラシー教育革新論	2	◎	
	教職に関する科目	550201	子どものエンパワーメント論	2	◎	
	教職に関する科目	550202	山梨の学校改革	2		
	教職に関する科目	550203	学校・教員評価論	2		
	教職に関する科目	550205	理数学習教材開発論	2		
	教職に関する科目	550206	言語学習開発論	2		

		550207	教育実践演習	2		
		550208	教科教育特論	2		
		550211	教育実践フィールドワーク論	2		

⑨中学校教諭専修免許状（保健）・高等学校教諭専修免許状（保健）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考		
		科目番号	授業科目名					
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2				
		541001	教育支援科学研究Ⅰ	2				
		541011	比較教育学特論	2				
		541012	比較教育学特論演習	2				
		541013	日本教育史特論	2				
		541014	日本教育史特論演習	2				
		541015	教育経営特論	2				
		541016	教育経営特論演習	2				
		541021	教育心理学特論	2				
		541022	教育心理学特論演習	2				
		541023	教育相談特論	2				
		541024	教育相談特論演習	2				
		541031	臨床心理学特論	2				
		541032	臨床心理学特論演習	2				
		541033	社会心理学特論	2				
		541034	社会心理学特論演習	2				
		541035	認知心理学特論	2				
		541036	認知心理学特論演習	2				
		教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
				550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
550004	授業創造の心理学			2	◎			

	550005	子ども援助の実践的課題	2	◎	
	550007	学校組織経営論	2	◎	
	550008	学校改善論	2	◎	
	550009	現代学校論	2	◎	
	550010	現代教員論	2	◎	
	550101	学校危機管理論	2		
	550102	科学的リテラシー教育革新論	2	◎	
	550201	子どものエンパワーメント論	2	◎	
	550202	山梨の学校改革	2		
	550203	学校・教員評価論	2		
	550205	理数学習教材開発論	2		
	550206	言語学習開発論	2		
	550207	教育実践演習	2		
	550208	教科教育特論	2		
	550211	教育実践フィールドワーク論	2		

⑩中学校教諭専修免許状（技術）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必 選	備 考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究 I	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		

		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		
		541035	認知心理学特論	2		
		541036	認知心理学特論演習	2		
		541041	教育内容特論	2		
		541042	教育内容特論演習	2		
		541043	情報教育特論	2		
		541044	情報教育特論演習	2		
教科教育専攻 科学文化コース	教科に関する科目	544111	電気・電子工学特論	2		
		544112	電気・電子工学特論演習	2		
		544113	電子情報特論	2		
		544114	電子情報特論演習	2		
		544121	機械工学特論	2		
		544122	機械工学特論演習	2		
		544123	材料加工学特論	2		
		544931	課題研究1（技術教育）	2		
	544932	課題研究2（技術教育）	4			
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		544002	科学文化教育学研究Ⅱ	2		
		544101	技術科教育学特論	2		
		544104	技術科教育学特論演習Ⅰ	2		
	教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎
550002			カリキュラムのマネジメント	2	◎	
550004			授業創造の心理学	2	◎	
550005			子ども援助の実践的課題	2	◎	
550007			学校組織経営論	2	◎	
550008			学校改善論	2	◎	
550009			現代学校論	2	◎	
550010			現代教員論	2	◎	
550101			学校危機管理論	2		
550102			科学的リテラシー教育革新論	2	◎	
550201			子どものエンパワーメント論	2	◎	
550202			山梨の学校改革	2		

	550203	学校・教員評価論	2		
	550205	理数学習教材開発論	2		
	550206	言語学習開発論	2		
	550207	教育実践演習	2		
	550208	教科教育特論	2		
	550211	教育実践フィールドワーク論	2		

⑩中学校教諭専修免許状（家庭）・高等学校教諭専修免許状（家庭）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究Ⅰ	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		
		541035	認知心理学特論	2		
		541036	認知心理学特論演習	2		
		541041	教育内容特論	2		
		541042	教育内容特論演習	2		
541043	情報教育特論	2				
541044	情報教育特論演習	2				

教科教育専攻 社会文化コース	教科に関する科目	543091	食物学特論	2		
		543092	食物学特論演習	2		
		543101	被服学特論	2		
		543102	被服学特論演習	2		
		543111	住居学特論	2		
		543112	住居学特論演習	2		
		543121	家庭経営学特論	2		
		543122	家庭経営学特論演習	2		
		543131	保育学特論	2		
		543132	保育学特論演習	2		
		543921	課題研究1（家政教育）	2		
		543922	課題研究2（家政教育）	4		
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		543002	社会文化教育学研究Ⅱ	2		
543081		家庭科教育学特論	2			
543082		家庭科教育学特論演習	2			
教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
		550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
		550004	授業創造の心理学	2	◎	
		550005	子ども援助の実践的課題	2	◎	
		550007	学校組織経営論	2	◎	
		550008	学校改善論	2	◎	
		550009	現代学校論	2	◎	
		550010	現代教員論	2	◎	
		550101	学校危機管理論	2		
		550102	科学的リテラシー教育革新論	2	◎	
		550201	子どものエンパワーメント論	2	◎	
		550202	山梨の学校改革	2		
		550203	学校・教員評価論	2		
		550205	理数学習教材開発論	2		
		550206	言語学習開発論	2		
		550207	教育実践演習	2		
		550208	教科教育特論	2		
550211	教育実践フィールドワーク論	2				

⑫中学校教諭専修免許状（英語）・高等学校教諭専修免許状（英語）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究Ⅰ	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		
		541035	認知心理学特論	2		
		541036	認知心理学特論演習	2		
		541041	教育内容特論	2		
		541042	教育内容特論演習	2		
541043	情報教育特論	2				
541044	情報教育特論演習	2				
教科教育専攻 言語文化コース	教科に関する科目	542081	英語学特論Ⅰ	2		
		542082	英語学特論演習Ⅰ	2		
		542083	英語学特論Ⅱ	2		
		542084	英語学特論演習Ⅱ	2		
		542091	英米文学特論Ⅰ	2		
		542092	英米文学特論演習Ⅰ	2		
		542093	英米文学特論Ⅱ	2		
		542094	英米文学特論演習Ⅱ	2		
		542095	英米文学特論Ⅲ	2		

		542096	英米文学特論演習Ⅲ	2		
		542097	英米文学特論Ⅳ	2		
		542098	英米文学特論演習Ⅳ	2		
		542921	課題研究1（英語教育）	2		
		542922	課題研究2（英語教育）	4		
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		542002	言語文化教育学研究Ⅱ	2		
		542072	英語科教育学特論演習	2		
		542073	英語科教育学特論Ⅰ	2		
		542074	英語科教育学特論Ⅱ	2		
教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
		550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
		550004	授業創造の心理学	2	◎	
		550005	子ども援助の実践的課題	2	◎	
		550007	学校組織経営論	2	◎	
		550008	学校改善論	2	◎	
		550009	現代学校論	2	◎	
		550010	現代教員論	2	◎	
		550101	学校危機管理論	2		
		550102	科学的リテラシー教育革新論	2	◎	
		550201	子どものエンパワーメント論	2	◎	
		550202	山梨の学校改革	2		
		550203	学校・教員評価論	2		
		550205	理数学習教材開発論	2		
		550206	言語学習開発論	2		
		550207	教育実践演習	2		
		550208	教科教育特論	2		
		550211	教育実践フィールドワーク論	2		

⑬高等学校教諭専修免許状（地理歴史）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究Ⅰ	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		
		541035	認知心理学特論	2		
		541036	認知心理学特論演習	2		
		541041	教育内容特論	2		
		541042	教育内容特論演習	2		
541043	情報教育特論	2				
541044	情報教育特論演習	2				
教科教育専攻 社会文化コース	教科に関する科目	543021	日本史特論	2		
		543022	日本史特論演習	2		
		543023	外国史特論	2		
		543024	外国史特論演習	2		
		543031	地理学特論	2		
		543032	地理学特論演習	2		
		543911	課題研究1（社会科教育）	2		
		543912	課題研究2（社会科教育）	4		

	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		543001	社会文化教育学研究Ⅰ	2		
		543011	社会科教育学特論Ⅰ	2		
		543012	社会科教育学特論演習Ⅰ	2		
		543013	社会科教育学特論Ⅱ	2		
		543014	社会科教育学特論演習Ⅱ	2		
教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
		550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
		550004	授業創造の心理学	2	◎	
		550005	子ども援助の実践的課題	2	◎	
		550007	学校組織経営論	2	◎	
		550008	学校改善論	2	◎	
		550009	現代学校論	2	◎	
		550010	現代教員論	2	◎	
		550101	学校危機管理論	2		
		550102	科学的リテラシー教育革新論	2	◎	
		550201	子どものエンパワーメント論	2	◎	
		550202	山梨の学校改革	2		
		550203	学校・教員評価論	2		
		550205	理数学習教材開発論	2		
		550206	言語学習開発論	2		
		550207	教育実践演習	2		
550208	教科教育特論	2				
550211	教育実践フィールドワーク論	2				

⑭高等学校教諭専修免許状（公民）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究Ⅰ	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		

		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		
		541035	認知心理学特論	2		
		541036	認知心理学特論演習	2		
		541041	教育内容特論	2		
		541042	教育内容特論演習	2		
		541043	情報教育特論	2		
		541044	情報教育特論演習	2		
教科教育専攻 社会文化コース	教科に関する科目	543041	政治学特論 I	2		
		543042	政治学特論演習 I	2		
		543043	政治学特論 II	2		
		543044	政治学特論演習 II	2		
		543047	法学特論 I	2		
		543048	法学特論演習 I	2		
		543049	法学特論 II	2		
		513050	法学特論演習 II	2		
		543053	経済学特論 I	2		
		543054	経済学特論演習 I	2		
		543055	経済学特論 II	2		
		543056	経済学特論演習 II	2		
		543063	社会学特論	2		
		543064	社会学特論演習	2		
		543071	哲学特論 I	2		
		543072	哲学特論演習 I	2		

		543911	課題研究 1 (社会科教育)	2		
		543912	課題研究 2 (社会科教育)	4		
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		543001	社会文化教育学研究 I	2		
		543011	社会科教育学特論 I	2		
		543012	社会科教育学特論演習 I	2		
		543013	社会科教育学特論 II	2		
		543014	社会科教育学特論演習 II	2		
教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
		550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
		550004	授業創造の心理学	2	◎	
		550005	子ども援助の実践的課題	2	◎	
		550007	学校組織経営論	2	◎	
		550008	学校改善論	2	◎	
		550009	現代学校論	2	◎	
		550010	現代教員論	2	◎	
		550101	学校危機管理論	2		
		550102	科学的リテラシー教育革新論	2	◎	
		550201	子どものエンパワメント論	2	◎	
		550202	山梨の学校改革	2		
		550203	学校・教員評価論	2		
		550205	理数学習教材開発論	2		
		550206	言語学習開発論	2		
		550207	教育実践演習	2		
		550208	教科教育特論	2		
550211	教育実践フィールドワーク論	2				

⑮高等学校教諭専修免許状（工芸）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究 I	2		

		541011	比較教育学特論	2			
		541012	比較教育学特論演習	2			
		541013	日本教育史特論	2			
		541014	日本教育史特論演習	2			
		541015	教育経営特論	2			
		541016	教育経営特論演習	2			
		541021	教育心理学特論	2			
		541022	教育心理学特論演習	2			
		541023	教育相談特論	2			
		541024	教育相談特論演習	2			
		541031	臨床心理学特論	2			
		541032	臨床心理学特論演習	2			
		541033	社会心理学特論	2			
		541034	社会心理学特論演習	2			
		541035	認知心理学特論	2			
		541036	認知心理学特論演習	2			
		541041	教育内容特論	2			
		541042	教育内容特論演習	2			
		541043	情報教育特論	2			
		541044	情報教育特論演習	2			
教科教育専攻 芸術文化コース	教科に関する科目	545077	彫刻特論	2			
		545078	彫刻特論演習	2			
		545081	デザイン特論	2			
		545082	デザイン特論演習	2			
		545091	工芸特論	2			
		545092	工芸特論演習	2			
		545101	美術理論・美術史特論	2			
		545102	美術理論・美術史特論演習	2			
		545921	課題研究1（美術教育）	2			
		545922	課題研究2（美術教育）	4			
		教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
			545002	芸術文化教育学研究Ⅱ	2		
	545061		美術科教育学特論Ⅰ	2			
	545062		美術科教育学特論演習Ⅰ	2			

		545063	美術科教育学特論Ⅱ	2		
		545064	美術科教育学特論演習Ⅱ	2		
教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
		550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
		550004	授業創造の心理学	2	◎	
		550005	子ども援助の実践的課題	2	◎	
		550007	学校組織経営論	2	◎	
		550008	学校改善論	2	◎	
		550009	現代学校論	2	◎	
		550010	現代教員論	2	◎	
		550101	学校危機管理論	2		
		550102	科学的リテラシー教育革新論	2	◎	
		550201	子どものエンパワーメント論	2	◎	
		550202	山梨の学校改革	2		
		550203	学校・教員評価論	2		
		550205	理数学習教材開発論	2		
		550206	言語学習開発論	2		
		550207	教育実践演習	2		
550208	教科教育特論	2				
550211	教育実践フィールドワーク論	2				

⑩高等学校教諭専修免許状（書道）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究Ⅰ	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		

		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		
		541035	認知心理学特論	2		
		541036	認知心理学特論演習	2		
		541041	教育内容特論	2		
		541042	教育内容特論演習	2		
		541043	情報教育特論	2		
		541044	情報教育特論演習	2		
教科教育専攻 言語文化コース	教科に関する科目	542031	古典文学特論Ⅰ	2		
		542032	古典文学特論演習Ⅰ	2		
		542033	古典文学特論Ⅱ	2		
		542034	古典文学特論演習Ⅱ	2		
		542035	近代文学特論	2		
		542036	近代文学特論演習	2		
		542041	漢文学特論	2		
		542042	漢文学特論演習	2		
		542061	書写・書道特論	2		
		542062	書写・書道特論演習	2		
		542911	課題研究1（国語教育）	2		
		542912	課題研究2（国語教育）	4		
		教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2	
教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2		
		550002	カリキュラムのマネジメント	2		
		550004	授業創造の心理学	2		
		550005	子ども援助の実践的課題	2		
		550007	学校組織経営論	2		
		550008	学校改善論	2		
		550009	現代学校論	2		

	550010	現代教員論	2		
	550101	学校危機管理論	2		
	550102	科学的リテラシー教育革新論	2		
	550201	子どものエンパワーメント論	2	◎	
	550202	山梨の学校改革	2		
	550203	学校・教員評価論	2		
	550205	理数学習教材開発論	2		
	550206	言語学習開発論	2		
	550207	教育実践演習	2		
	550208	教科教育特論	2		
	550211	教育実践フィールドワーク論	2		

⑰高等学校教諭専修免許状（商業）

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必 選	備 考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究 I	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		
				541035	認知心理学特論	2

		541036	認知心理学特論演習	2		
		541041	教育内容特論	2		
		541042	教育内容特論演習	2		
		541043	情報教育特論	2		
		541044	情報教育特論演習	2		
教育実践創成専攻	教職に関する科目	550001	カリキュラムの見方考え方	2	◎	
		550002	カリキュラムのマネジメント	2	◎	
		550004	授業創造の心理学	2	◎	
		550005	子ども援助の実践的課題	2	◎	
		550007	学校組織経営論	2	◎	
		550008	学校改善論	2	◎	
		550009	現代学校論	2	◎	
		550010	現代教員論	2	◎	
		550101	学校危機管理論	2		
		550102	科学的リテラシー教育革新論	2	◎	
		550201	子どものエンパワーメント論	2	◎	
		550202	山梨の学校改革	2		
		550203	学校・教員評価論	2		
		550205	理数学習教材開発論	2		
		550206	言語学習開発論	2		
		550207	教育実践演習	2		
		550208	教科教育特論	2		
		550211	教育実践フィールドワーク論	2		

⑱特別支援学校教諭専修免許状

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	特別支援教育に関する科目	541002	教育支援科学研究Ⅱ	2	◎	教育支援科学専攻のみ必修
		541061	発達障害学特論	2		
		541062	発達障害学特論演習	2		
		541063	知的発達障害学特論	2	◎	
		541064	知的発達障害学特論演習	2		

	541065	運動発達障害学特論	2	◎	
	541066	運動発達障害学特論演習	2		
	541067	健康障害学特論	2	◎	
	541068	健康障害学特論演習	2		
	541071	障害児心理学特論 I	2		
	541072	障害児心理学特論演習 I	2		
	541073	障害児心理学特論 II	2		
	541074	障害児心理学特論演習 II	2		
	541081	障害児生理学特論	2		
	541082	障害児心理学特論演習	2		

⑱幼稚園教諭専修免許状

専攻・コース	科目区分	開設授業科目		単位数	必選	備考
		科目番号	授業科目名			
教育支援科学専攻	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
		541001	教育支援科学研究 I	2		
		541011	比較教育学特論	2		
		541012	比較教育学特論演習	2		
		541013	日本教育史特論	2		
		541014	日本教育史特論演習	2		
		541015	教育経営特論	2		
		541016	教育経営特論演習	2		
		541021	教育心理学特論	2		
		541022	教育心理学特論演習	2		
		541023	教育相談特論	2		
		541024	教育相談特論演習	2		
		541031	臨床心理学特論	2		
		541032	臨床心理学特論演習	2		
		541033	社会心理学特論	2		
		541034	社会心理学特論演習	2		
		541035	認知心理学特論	2		
541036	認知心理学特論演習	2				

		541041	教育内容特論	2			
		541042	教育内容特論演習	2			
		541051	幼児教育学特論	2			
		541052	幼児教育学特論演習	2			
		541053	保育実践論特論	2			
		541054	保育実践論特論演習	2			
		541055	幼児心理学特論	2			
		541056	幼児心理学特論演習	2			
教科教育専攻 言語文化コース	教科に関する科目	542021	国語学特論Ⅰ	2			
		542022	国語学特論演習Ⅰ	2			
		542023	国語学特論Ⅱ	2			
		542024	国語学特論演習Ⅱ	2			
		542031	古典文学特論Ⅰ	2			
		542032	古典文学特論演習Ⅰ	2			
		542033	古典文学特論Ⅱ	2			
		542034	古典文学特論演習Ⅱ	2			
		542035	近代文学特論	2			
		542036	近代文学特論演習	2			
		542041	漢文学特論	2			
		542042	漢文学特論演習	2			
		542061	書写・書道特論	2			
		542062	書写・書道特論演習	2			
	542911	課題研究1（国語教育）	2				
	542912	課題研究2（国語教育）	4				
		教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
			542001	言語文化教育学研究Ⅰ	2		
			542011	国語科教育学特論Ⅰ	2		
			542012	国語科教育学特論演習Ⅰ	2		
	542013		国語科教育学特論Ⅱ	2			
	542014		国語科教育学特論演習Ⅱ	2			
教科教育専攻 科学文化コース	教科に関する科目	544023	代数学特論Ⅰ	2			
		544024	代数学特論演習Ⅰ	2			
		544025	代数学特論Ⅱ	2			
		544026	代数学特論演習Ⅱ	2			

		544031	幾何学特論	2			
		544032	幾何学特論演習	2			
		544041	解析学特論 I	2			
		544042	解析学特論演習 I	2			
		544043	解析学特論 II	2			
		544044	解析学特論演習 II	2			
		544911	課題研究 1 (数学教育)	2			
		544912	課題研究 2 (数学教育)	4			
	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2			
		544001	科学文化教育学研究 I	2			
		544011	数学科教育学特論	2			
		544012	数学科教育学特論演習	2			
	教科教育専攻 芸術文化コース	教科に関する科目	545023	器楽特論 I	2		
			545024	器楽特論演習 I	2		
545025			器楽特論 II	2			
545026			器楽特論演習 II	2			
545031			声楽特論	2			
545032			声楽特論演習	2			
545041			作曲特論	2			
545042			作曲特論演習	2			
545051			音楽学特論	2			
545052			音楽学特論演習	2			
545071			絵画特論	2			
545072			絵画特論演習	2			
545077			彫刻特論	2			
545078			彫刻特論演習	2			
545081			デザイン特論	2			
545082			デザイン特論演習	2			
545101			美術理論・美術史特論	2			
545102			美術理論・美術史特論演習	2			
545911			課題研究 1 (音楽教育)	2			
545912			課題研究 2 (音楽教育)	4			
545921	課題研究 1 (美術教育)	2					
545922	課題研究 2 (美術教育)	4					

	教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2			
		545001	芸術文化教育学研究Ⅰ	2			
		545002	芸術文化教育学研究Ⅱ	2			
		545011	音楽科教育学特論Ⅰ	2			
		545012	音楽科教育学特論演習Ⅰ	2			
		545013	音楽科教育学特論Ⅱ	2			
		545014	音楽科教育学特論演習Ⅱ	2			
		545061	美術科教育学特論Ⅰ	2			
		545062	美術科教育学特論演習Ⅰ	2			
		545063	美術科教育学特論Ⅱ	2			
		545064	美術科教育学特論演習Ⅱ	2			
教科教育専攻 身体文化コース	教科に関する科目	546021	体育学特論	2			
		546022	体育学特論演習	2			
		546023	体育心理学特論	2			
		546024	体育心理学特論演習	2			
		546031	運動学特論	2			
		546032	運動学特論演習	2			
		546033	野外運動学特論	2			
		546034	野外運動学特論演習	2			
		546035	舞踊学特論	2			
		546036	舞踊学特論演習	2			
		546041	健康管理学特論	2			
		546042	健康管理学特論演習	2			
		546043	健康科学特論	2			
		546044	健康科学特論演習	2			
		546911	課題研究1（保健体育）	2			
		546912	課題研究2（保健体育）	4			
		教職に関する科目	540001	人間形成の現代的課題	2		
			546001	身体文化教育学研究Ⅰ	2		
	546002		身体文化教育学研究Ⅱ	2			
	546013		保健体育科教育学特論Ⅰ	2			
546014	保健体育科教育学特論演習Ⅰ		2				
546015	保健体育科教育学特論Ⅱ		2				
546016	保健体育科教育学特論演習Ⅱ		2				

6 開設授業科目一覧

別表1 (第4条関係)

○教育支援科学専攻

科目区分	科目番号	授業科目名	単位数		授業を行う年次	備考
			必修	選択		
専攻共通	540001	人間形成の現代的課題	2		1	
	541001	教育支援科学研究Ⅰ	2		1	
	541002	教育支援科学研究Ⅱ	2		1	
専攻専門	541011	比較教育学特論		2	1・2	
	541012	比較教育学特論演習		2	1・2	
	541013	日本教育史特論		2	1・2	
	541014	日本教育史特論演習		2	1・2	
	541015	教育経営特論		2	1・2	
	541016	教育経営特論演習		2	1・2	
	541021	教育心理学特論		2	1・2	
	541022	教育心理学特論演習		2	1・2	
	541023	教育相談特論		2	1・2	
	541024	教育相談特論演習		2	1・2	
	541031	臨床心理学特論		2	1・2	○
	541032	臨床心理学特論演習		2	1・2	
	541033	社会心理学特論		2	1・2	
	541034	社会心理学特論演習		2	1・2	
	541035	認知心理学特論		2	1・2	
	541036	認知心理学特論演習		2	1・2	
	541041	教育内容特論		2	1・2	
	541042	教育内容特論演習		2	1・2	
	541043	情報教育特論		2	1・2	
	541044	情報教育特論演習		2	1・2	
	541051	幼児教育学特論		2	1・2	○
	541052	幼児教育学特論演習		2	1・2	
	541053	保育実践論特論		2	1・2	
	541054	保育実践論特論演習		2	1・2	
	541055	幼児心理学特論		2	1・2	
	541056	幼児心理学特論演習		2	1・2	
541061	発達障害学特論		2	1・2		
541062	発達障害学特論演習		2	1・2		
541063	知的発達障害学特論		2	1・2	○	

	541064	知的発達障害学特論演習		2	1・2	
	541065	運動発達障害学特論		2	1・2	○
	541066	運動発達障害学特論演習		2	1・2	
	541067	健康障害学特論		2	1・2	
	541068	健康障害学特論演習		2	1・2	
	541071	障害児心理学特論Ⅰ		2	1・2	
	541072	障害児心理学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	541073	障害児心理学特論Ⅱ		2	1・2	
	541074	障害児心理学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	541081	障害児生理学特論		2	1・2	
	541082	障害児生理学特論演習		2	1・2	
課題研究	541901	課題研究 1	2		1	
	541902	課題研究 2	4		2	
学位論文 最終試験	541991	学位論文				
	541992	最終試験				

(注) 備考欄中の○印は選択必修科目で、6単位以上を修得しなければならない。

○教科教育専攻 言語文化コース

科目区分	科目番号	授業科目名	単位数		授業を行う年次	備考
			必修	選択		
専攻共通	540001	人間形成の現代的課題	2		1	
コース共通	542001	言語文化教育学研究Ⅰ	2		1	
	542002	言語文化教育学研究Ⅱ	2		1	
コース専門	542011	国語科教育学特論Ⅰ		2	1・2	○
	542012	国語科教育学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	542013	国語科教育学特論Ⅱ		2	1・2	○
	542014	国語科教育学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	542021	国語学特論Ⅰ		2	1・2	
	542022	国語学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	542023	国語学特論Ⅱ		2	1・2	
	542024	国語学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	542031	古典文学特論Ⅰ		2	1・2	
	542032	古典文学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	542033	古典文学特論Ⅱ		2	1・2	
	542034	古典文学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	542035	近代文学特論		2	1・2	
	542036	近代文学特論演習		2	1・2	

	542041	漢文学特論		2	1・2	
	542042	漢文学特論演習		2	1・2	
	542051	中国語学特論		2	1・2	
	542052	中国語学特論演習		2	1・2	
	542061	書写・書道特論		2	1・2	
	542062	書写・書道特論演習		2	1・2	
	542072	英語科教育学特論演習		2	1・2	
	542073	英語科教育学特論Ⅰ		2	1・2	○
	542075	英語科教育学特論Ⅱ		2	1・2	○
	542081	英語学特論Ⅰ		2	1・2	
	542082	英語学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	542083	英語学特論Ⅱ		2	1・2	
	542084	英語学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	542091	英米文学特論Ⅰ		2	1・2	
	542092	英米文学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	542093	英米文学特論Ⅱ		2	1・2	
	542094	英米文学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	542095	英米文学特論Ⅲ		2	1・2	
	542096	英米文学特論演習Ⅲ		2	1・2	
	542097	英米文学特論Ⅳ		2	1・2	
	542098	英米文学特論演習Ⅳ		2	1・2	
	542101	フランス文化特論		2	1・2	
	542102	ドイツ文化特論		2	1・2	
	542103	フランス文化特論演習		2	1・2	
	542104	ドイツ文化特論演習		2	1・2	
課題研究	542911	課題研究1 (国語教育)		2	1	☆
	542912	課題研究2 (国語教育)		4	2	☆
	542921	課題研究1 (英語教育)		2	1	☆
	542922	課題研究2 (英語教育)		4	2	☆
学位論文 最終試験	542991	学位論文				
	542992	最終試験				

- (注) 1. 備考欄中の○印は選択必修科目で、2単位以上を修得しなければならない。
2. 備考欄中の☆印は選択必修科目で、同一分野の科目を6単位修得しなければならない。

○教科教育専攻 社会文化コース

科目区分	科目番号	授業科目名	単位数		授業を行う年次	備考
			必修	選択		
専攻共通	540001	人間形成の現代的課題	2		1	
コース共通	543001	社会文化教育学研究Ⅰ	2		1	
	543002	社会文化教育学研究Ⅱ	2		1	
コース専門	543011	社会科教育学特論Ⅰ		2	1・2	○
	543012	社会科教育学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	543013	社会科教育学特論Ⅱ		2	1・2	○
	543014	社会科教育学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	543021	日本史特論		2	1・2	
	543022	日本史特論演習		2	1・2	
	543023	外国史特論		2	1・2	
	543024	外国史特論演習		2	1・2	
	543031	地理学特論		2	1・2	
	543032	地理学特論演習		2	1・2	
	543041	政治学特論Ⅰ		2	1・2	
	543042	政治学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	543043	政治学特論Ⅱ		2	1・2	
	543044	政治学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	543047	法学特論Ⅰ		2	1・2	
	543048	法学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	543049	法学特論Ⅱ		2	1・2	
	543050	法学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	543053	経済学特論Ⅰ		2	1・2	
	543054	経済学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	543055	経済学特論Ⅱ		2	1・2	
	543056	経済学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	543063	社会学特論		2	1・2	
	543064	社会学特論演習		2	1・2	
	543071	哲学特論Ⅰ		2	1・2	
	543072	哲学特論演習Ⅰ		2	1・2	
543081	家庭科教育学特論		2	1・2	○	
543082	家庭科教育学特論演習		2	1・2		
543091	食物学特論		2	1・2		
543092	食物学特論演習		2	1・2		
543101	被服学特論		2	1・2		

	543102	被服学特論演習		2	1・2	
	543111	住居学特論		2	1・2	
	543112	住居学特論演習		2	1・2	
	543121	家庭経営学特論		2	1・2	
	543122	家庭経営学特論演習		2	1・2	
	543131	保育学特論		2	1・2	
	543132	保育学特論演習		2	1・2	
課題研究	543911	課題研究1(社会科教育)		2	1	☆
	543912	課題研究2(社会科教育)		4	2	☆
	543921	課題研究1(家政教育)		2	1	☆
	543922	課題研究2(家政教育)		4	2	☆
学位論文 最終試験	543991	学位論文				
	543992	最終試験				

- (注) 1. 備考欄中の○印は選択必修科目で、2単位以上を修得しなければならない。
2. 備考欄中の☆印は選択必修科目で、同一分野の科目を6単位修得しなければならない。

○教科教育専攻 科学文化コース

科目区分	科目番号	授業科目名	単位数		授業を行う年次	備考
			必修	選択		
専攻共通	540001	人間形成の現代的課題	2		1	
コース共通	544001	科学文化教育学研究Ⅰ	2		1	
	544002	科学文化教育学研究Ⅱ	2		1	
コース専門	544011	数学科教育学特論		2	1・2	○
	544012	数学科教育学特論演習		2	1・2	
	544023	代数学特論Ⅰ		2	1・2	
	544024	代数学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	544025	代数学特論Ⅱ		2	1・2	
	544026	代数学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	544031	幾何学特論		2	1・2	
	544032	幾何学特論演習		2	1・2	
	544041	解析学特論Ⅰ		2	1・2	
	544042	解析学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	544043	解析学特論Ⅱ		2	1・2	
	544044	解析学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	544053	理科教育学特論Ⅰ		2	1・2	○
	544054	理科教育学特論演習Ⅰ		2	1・2	

544055	理科教育学特論Ⅱ		2	1・2	○
544056	理科教育学特論演習Ⅱ		2	1・2	
544061	物理学特論Ⅰ		2	1・2	
544062	物理学特論演習Ⅰ		2	1・2	
544063	物理学特論Ⅱ		2	1・2	
544064	物理学特論演習Ⅱ		2	1・2	
544071	化学特論Ⅰ		2	1・2	
544072	化学特論演習Ⅰ		2	1・2	
544073	化学特論Ⅱ		2	1・2	
544074	化学特論演習Ⅱ		2	1・2	
544081	生物学特論Ⅰ		2	1・2	
544082	生物学特論演習Ⅰ		2	1・2	
544083	生物学特論Ⅱ		2	1・2	
544084	生物学特論演習Ⅱ		2	1・2	
544085	生物学特論Ⅲ		2	1・2	
544086	生物学特論演習Ⅲ		2	1・2	
544091	地球科学特論Ⅰ		2	1・2	
544092	地球科学特論演習Ⅰ		2	1・2	
544093	地球科学特論Ⅱ		2	1・2	
544094	地球科学特論演習Ⅱ		2	1・2	
544095	地球科学特論Ⅲ		2	1・2	
544096	地球科学特論演習Ⅲ		2	1・2	
544101	技術科教育学特論		2	1・2	○
544104	技術科教育学特論演習Ⅰ		2	1・2	
544106	技術科教育学特論演習Ⅱ		2	1・2	
544111	電気・電子工学特論		2	1・2	
544112	電気・電子工学特論演習		2	1・2	
544113	電子情報特論		2	1・2	
544114	電子情報特論演習		2	1・2	
544121	機械工学特論		2	1・2	
544122	機械工学特論演習		2	1・2	
544123	材料加工学特論		2	1・2	
課題研究	544911	課題研究1 (数学教育)	2	1	☆
	544912	課題研究2 (数学教育)	4	2	☆
	544921	課題研究1 (理科教育)	2	1	☆
	544922	課題研究2 (理科教育)	4	2	☆
	544931	課題研究1 (技術教育)	2	1	☆

	544932	課題研究 2 (技術教育)		4	2	☆
学位論文 最終試験	544991	学位論文				
	544992	最終試験				

- (注) 1. 備考欄中の○印は選択必修科目で、2単位以上を修得しなければならない。
2. 備考欄中の☆印は選択必修科目で、同一分野の科目を6単位修得しなければならない。

○教科教育専攻 芸術文化コース

科目区分	科目番号	授業科目名	単位数		授業を行う年次	備考
			必修	選択		
専攻共通	540001	人間形成の現代的課題	2		1	
コース共通	545001	芸術文化教育学研究Ⅰ	2		1	
	545002	芸術文化教育学研究Ⅱ	2		1	
コース専門	545011	音楽科教育学特論Ⅰ		2	1・2	○
	545012	音楽科教育学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	545013	音楽科教育学特論Ⅱ		2	1・2	○
	545014	音楽科教育学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	545023	器楽特論Ⅰ		2	1・2	
	545024	器楽特論演習Ⅰ		2	1・2	
	545025	器楽特論Ⅱ		2	1・2	
	545026	器楽特論演習Ⅱ		2	1・2	
	545031	声楽特論		2	1・2	
	545032	声楽特論演習		2	1・2	
	545041	作曲特論		2	1・2	
	545042	作曲特論演習		2	1・2	
	545051	音楽学特論		2	1・2	
	545052	音楽学特論演習		2	1・2	
	545061	美術科教育学特論Ⅰ		2	1・2	○
	545062	美術科教育学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	545063	美術科教育学特論Ⅱ		2	1・2	○
	545064	美術科教育学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	545071	絵画特論		2	1・2	
	545072	絵画特論演習		2	1・2	
545077	彫刻特論		2	1・2		
545078	彫刻特論演習		2	1・2		
545081	デザイン特論		2	1・2		
545082	デザイン特論演習		2	1・2		

	545091	工芸特論		2	1・2	
	545092	工芸特論演習		2	1・2	
	545101	美術理論・美術史特論		2	1・2	
	545102	美術理論・美術史特論演習		2	1・2	
課題研究	545911	課題研究1（音楽教育）		2	1	☆
	545912	課題研究2（音楽教育）		4	2	☆
	545921	課題研究1（美術教育）		2	1	☆
	545922	課題研究2（美術教育）		4	2	☆
学位論文 最終試験	545991	学位論文				
	545992	最終試験				

- (注) 1. 備考欄中の○印は選択必修科目で、2単位以上を修得しなければならない。
2. 備考欄中の☆印は選択必修科目で、同一分野の科目を6単位修得しなければならない。

○教科教育専攻 身体文化コース

科目区分	科目番号	授業科目名	単位数		授業を行う年次	備考
			必修	選択		
専攻共通	540001	人間形成の現代的課題	2		1	
コース共通	546001	身体文化教育学研究Ⅰ	2		1	
	546002	身体文化教育学研究Ⅱ	2		1	
コース専門	546013	保健体育科教育学特論Ⅰ		2	1・2	○
	546014	保健体育科教育学特論演習Ⅰ		2	1・2	
	546015	保健体育科教育学特論Ⅱ		2	1・2	
	546016	保健体育科教育学特論演習Ⅱ		2	1・2	
	546021	体育学特論		2	1・2	○
	546022	体育学特論演習		2	1・2	
	546023	体育心理学特論		2	1・2	
	546024	体育心理学特論演習		2	1・2	
	546031	運動学特論		2	1・2	
	546032	運動学特論演習		2	1・2	
	546033	野外運動学特論		2	1・2	
	546034	野外運動学特論演習		2	1・2	
	546035	舞踊学特論		2	1・2	○
	546036	舞踊学特論演習		2	1・2	
	546041	健康管理学特論		2	1・2	○
	546042	健康管理学特論演習		2	1・2	
546043	健康科学特論		2	1・2		
546044	健康科学特論演習		2	1・2		

課題研究	546911	課題研究 1 (保健体育)	2		1	
	546912	課題研究 2 (保健体育)	4		2	
学位論文 最終試験	546991	学位論文				
	546992	最終試験				

(注) 備考欄中の○印は選択必修科目で、2単位以上を修得しなければならない。

○教育実践創成専攻

科目区分	科目番号	授業科目名	単位数		授業を行う年次	備考
			必修	選択		
共通基礎	550001	カリキュラムの見方考え方	2		1	
	550002	カリキュラムのマネジメント	2		1	
	550003	授業研究マネジメント論	2		1	
	550004	授業創造の心理学	2		1	
	550005	子ども援助の実践的課題	2		1	
	550007	学校組織経営論	2		1	
	550008	学校改善論	2		1	
	550009	現代学校論	2		1	
	550010	現代教員論	2		1	
	550201	子どものエンパワーメント論	2		1	
独自共通	550101	学校危機管理論	2		1・2	
	550102	科学的リテラシー教育革新論	2		1・2	
発展科目	550202	山梨の学校改革		2	1	
	550203	学校・教員評価論		2	1	
	550204	理数学力評価論		2	1	
	550205	理数学習教材開発論		2	1	
	550206	言語学習開発論		2	1	
	550207	教育実践演習		2	1・2	
	550208	教科教育特論		2	1・2	
	550210	インクルーシブ教育特論		2	1・2	
	550211	教育実践フィールドワーク論		2	1	
課題研究	550901	課題研究Ⅰ	2		1	
	550902	課題研究Ⅱ	2		1	
	550903	課題研究Ⅲ	2		2	
実習	550991	実習Ⅰ(課題発見実習)	5		1	
	550992	実習Ⅱ(課題達成実習)	5		2	
	550993	教職応用実習		3	2	

7 授業時間割表

時間割表の見方と注意事項

1. 時限と時間

時限と時間は下表とする。

時 限	時 間
I	9:00 ~ 10:30
II	10:40 ~ 12:10
(昼 休 み)	
III	13:10 ~ 14:40
IV	14:50 ~ 16:20
V	16:30 ~ 18:00
VI	18:10 ~ 19:40

2. 授業科目番号及び時間割番号

(1) 各授業科目には、次の区分に従って6ケタの番号を付してある。

課 程	科 目	授業科目番号	
修士課程	課 程 共 通 科 目	540001~540099	
	教 育 支 援 科 学 専 攻 科 目	541001~541999	
	教科教育専攻科目	言語文化コース	542001~542999
		社会文化コース	543001~543999
		科学文化コース	544001~544999
		芸術文化コース	545001~545999
	身体文化コース	546001~546999	
教職大学院の課程	教 育 実 践 創 成 専 攻 科 目	550001~550999	

(2) 時間割番号の読み方について

- ① (1~6桁の番号) 授業科目番号
- ② (7桁目のABC) 同一授業科目番号の科目であっても期間によって授業内容を全く異にするものについては、これを別の単位として認める。この場合の科目名及び授業科目番号の7桁目にアルファベットを付して明示する。
- ③ (8桁目のABC) 同一授業科目番号の科目が同一年度内に2クラス以上開講される科目には、授業科目番号の8桁目にアルファベットを付して明示する。この場合これらは同一科目であるから、重複して単位を修得することはできない。

3. 注意事項

- (1) 集中講義は、年間の開講予定授業科目を前期欄に掲載している。
- (2) 履修申告に関する指示等は、山梨大学キャンパスネットワークサービス (YINS - CNS) により行うので注意すること。

2017年度時間割表(前期)

★：通年

曜日	月										水									
	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象7/7	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象7/7	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象7/7	年次		
I	541015	教育経営特論	平井貴美代	L416	1~2	540001	人間形成の現代的課題	加藤 繁美	S1-21	1~2	541033	社会心理学特論	尾見 康博	L426	1~2					
	541065	運動発達障害学特論	古屋 義博	研究室	1~2	545922 A	★課題研究2(美術教育)	菅沼 研一	研究室	2	541041	教育内容特論	高橋 英児	L420						
II	544031	総研学特論	武藤 秀夫	L257	1~2	545922 B	★課題研究2(美術教育)	村松 俊夫	研究室	2	542001	言語文化教育学研究I	岩永 正史	J323	1~2					
	544123	材料加工学特論	佐藤 博	L257	1~2	543002	社会文化教育学研究II	志村 結美	研究室	1~2	544023	代数学特論I	小池 健二	研究室		1~2				
III	544025	代数学特論II	成瀬 弘	Y-13	1~2	545001	芸術文化教育学研究I	藤原 嘉文	L527	1~2	546043	健康科学特論	安藤 大輔	L138	1~2					
	546015	保健体育科教育学特論II	金沢 翔一	L130	1~2	541031	日本教育史特論	阿部 茂	L420	1~2	541013	臨床心理学特論	田中健史朗	L423						
IV	542085	英文学特論III	奥村 直史	研究室	1~2	541031	臨床心理学特論	田中健史朗	L423	1~2	541043	情報教育特論	成田 雅博	J422	1~2					
	543063B	社会学特論B	鈴木 健之	Y-13	1~2	541055	社会文化教育学研究I	後藤賢次郎	研究室	1~2	544093	地球科学特論II	福地 龍郎	L232						
V	545077	彫刻特論	武末 裕子	研究室	1~2	544095	地球科学特論III	松本 深	研究室	1~2	545041B	作曲特論B	藤原 嘉文	L528	1~2					
	546013	保健体育科教育学特論I	中村 和彦	L130	1~2	542021A	国語学特論IA	長谷川千秋	研究室	1~2	543071B	哲学特論B	石塚 迅	研究室		1~2				
VI	541021	教育心理学特論	小野田亮介	L423	1~2	545051B	音楽学特論B	7's-c-G	L529	1~2	546021	体育学特論	加藤 朋之	L130	1~2					
	541063	知的発達障害学特論	廣瀬 信雄	研究室	1~2	541067	健康障害学特論	小畑 文也	研究室	1~2	543049B	法学特論IIB	森元 拓	研究室		1~2				
VII	542033A	古典文学特論IA	池田 尚隆	J216	1~2	541902 C	★課題研究2	加藤 繁美	研究室	2	544113	電子情報特論	山際 基	L258	1~2					
	542922 E	★課題研究2(英語教育)	田中 武夫	研究室	2	542035A	近代文学特論A	大木 志門	研究室	1~2	542051A	中国語学特論A	町田 茂	J216						
VIII	544083	生物学特論II	荻野如比古	L237	1~2	543055B	経済学特論IIB	宇多賢治郎	L226	1~2	545031B	音楽特論B	片野 耕喜	L531	1~2					
	545063	美術科教育学特論II	新野 真則	研究室	1~2	541106	技術科教育学特論演習II	佐藤 博	L257	1~2	545031B	音楽特論B	片野 耕喜	L531						
IX	541071	障害児心理学特論I	松下 浩之	研究室	1~2	545071	絵画特論	井坂健一郎	L514	1~2	541081	障害児心理学特論	島藤 順子	L440	1~2					
	543922 C	★課題研究2(家政教育)	時友裕紀子	研究室	2	541902 H	★課題研究2	尾見 康博	研究室	2	541902 H	★課題研究2	尾見 康博	研究室		2				
X	544071	化学特論I	佃 俊明	研究室	1~2	542011A	国語科教育学特論IA	新藤 知也	J323	1~2	543081	家庭科教育学特論	志村 結美	研究室	1~2					
	544912 B	★課題研究2(数学教育)	成瀬 弘	研究室	2	543081	家庭科教育学特論	志村 結美	研究室	1~2	544055	理科教育学特論II	佐藤 寛之	L313	1~2					
XI	545101	美術理論・美術史特論	平野千枝子	L529	1~2	545912 C	★課題研究2(音楽教育)	藤原 嘉文	研究室	2	545912 C	★課題研究2(音楽教育)	藤原 嘉文	研究室	2					
	545912 D	★課題研究2(音楽教育)	7's-c-G	L529	1~2	546035	舞踊学特論	木村はるみ	L130	1~2	546035	舞踊学特論	木村はるみ	L130	1~2					

2017年度時間割表 (前期)

★：通年

木											金				集中講義		
曜日	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象7/3	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象7/3	年次	時間割番号	科目名	担当教員	備考	
I	544081	生物学特論I	宮崎 淳一	L 2 3 7	1~2	541061	発達障害学特論	吉井 樹人	L 4 3 3	1~2	2017年度【前期】 教育学研究科修士課程						
	544081	生物学特論I	宮崎 淳一	L 2 3 7	1~2	544011	数学科教育学特論	清水 安幸	J 1 1 6	1~2							
II	541053	保育実践論特論	加藤 繁美	研究室	1~2	542013A	国語科教育学特論IIA	岩永 正史	J 3 2 3	1~2							
	541073	障害児心理学特論II	小畑 文也	研究室	1~2	543021B	日本史特論B	大隅 清勝	L 3 2 2	1~2							
	542075	英語科教育学特論II	田中 武夫	J 4 1 2	1~2	543091	食物学特論	崎友裕紀子	研究室	1~2							
	543121	家庭経営学特論	神山 久美	研究室	1~2	545013	音楽科教育学特論II	小島 千小	L 5 2 6	1~2							
	544001	科学文化教育学研究I	松森 靖夫	研究室	1~2	545912 E	★ 課題研究 2 (音楽教育)	片野 耕喜	L 5 2 7	2							
	544063	物理学特論I	山下 和之	研究室	1~2	545922 D	★ 課題研究 2 (美術教育)	井坂健一郎	研究室	2							
III	545081	デザイン特論	村松 俊夫	L 5 1 7	1~2												
	542041A	漢文学特論A	上原 亮一	J 4 1 1	1~2	545091	工学特論	菅沼 研一	研究室	1~2							
IV	542098	英米文学特論演習IV	澤田知香子	研究室	1~2	546041	健康管理学特論	小山 勝弘	L 1 3 8	1~2							
	543023B	外国史特論B	髭川 卓	J 3 2 2	1~2												
	544002	科学文化教育学研究II	上里 正男	L B 2 5 3	1~2												
	545023B	器楽特論I B	池山 洋子	L 5 3 0	1~2												
V	543101	被服学特論	岡松 恵	L 3 2 6	1~2	541902 B	★ 課題研究 2	平井貴美代	研究室	2							
	544091	地球科学特論I	石垣 武久	研究室	1~2	543013B	社会科学教育学特論IIB	後藤賢次郎	研究室	1~2							
VI	541001	教育支援科学研究I	阿部 茂	L 4 2 3	1	544912 E	★ 課題研究 2 (数学教育)	武藤 秀夫	研究室	2							
	541902 E	★ 課題研究 2	・他		1~2	542061A	書写・書道特論A	宮澤 正明	J 5 1 4	1~2							
	541902 F	★ 課題研究 2	廣瀬 信雄	研究室	2	545922 C	★ 課題研究 2 (美術教育)	栗田 真司	L 5 2 0	2							
	541902 G	★ 課題研究 2	鳥海 順子	研究室	2												
	546912 D	★ 課題研究 2 (保健体育)	小畑 文也	研究室	2												
	546912 E	★ 課題研究 2 (保健体育)	小山 勝弘	研究室	2												
VII	542073	英語科教育学特論I	中村 和彦	L 1 3 8	1~2	542912 A	★ 課題研究 2 (国語教育)	畑田 尚隆	研究室	2							
	542922 C	★ 課題研究 2 (英語教育)	古家 貴雄	J 4 1 2	2	542912 D	★ 課題研究 2 (国語教育)	岩水 正史	研究室	2							
	543912 H	★ 課題研究 2 (社会科学教育)	古家 貴雄	J 4 1 2	2	542912 E	★ 課題研究 2 (国語教育)	宮澤 正明	J 5 1 4	2							
	544073	化学特論II	大隅 清勝	研究室	1~2	543031B	地理学特論B	尾藤 章雄	L 2 2 6	1~2							

2017年度時間割表(後期)

★:通年

教育学研究科修士課程

曜日	月				火				水								
	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象7/7s	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象7/7s	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象7/7s
I	541066	運動発達障害学特論演習	古屋 雅博	研究室	1~2	541054	保健実践特論演習	加藤 繁美	研究室	1~2	541016	教育経営特論演習	平井貴美代	L416	1~2		
	541901 A	課題研究1	岡林 春雄	研究室	1~2	544922 B	★課題研究2(理科教育)	松森 靖夫	研究室	1~2	545922 A	★課題研究2(美術教育)	菅沼 研一	研究室	2		
	544921 B	課題研究1(理科教育)	松森 靖夫	研究室	1~2	545921 F	課題研究1(美術教育)	新野 貴則	研究室	1~2	545922 B	★課題研究2(美術教育)	菅沼 研一	研究室	2		
	544026	代数学特論演習II	成瀬 弘人	S1-12	1~2	541034	社会心理学特論演習	尾見 康博	L423	1~2	541002	教育支援科学研究II	廣瀬 信雄	L440	1~2		
II	544062	物理学特論演習I	長島 弘人	研究室	1~2	542024A	国語学特論演習IIA	仲木康一郎	研究室	1~2	544032	幾何学特論演習	武藤 秀夫	研究室	1~2		
	544911 C	課題研究1(数学教育)	中村 宗敬	研究室	1~2	543112	住居学特論演習	田中 勝	L333	1~2	544032	幾何学特論演習	武藤 秀夫	研究室	1~2		
	544911 F	課題研究1(数学教育)	厚芝 幸子	研究室	1~2	544054	理科教育特論演習I	松森 靖夫	L313	1~2	544092	地球科学特論演習I	石垣 武久	研究室	1~2		
	546044	健康科学特論演習	安藤 大輔	L138	1~2	545026B	器楽特論演習IIB	大内 邦博	L525	1~2	545002	芸術文化教育学研究II	菅沼 研一	L520	1~2		
III	541052	幼児教育学特論演習	秋山 麻美	研究室	1~2	545042B	作曲特論演習B	藤原 嘉文	L528	1~2	544082	生物学特論演習I	菅崎 洋一	L237	1~2		
	542082	英語学特論演習I	秋山 高二	研究室	1~2	546014	保健体育科教育学特論演習I	中村 和彦	L130	1~2							
	542084	英語学特論演習II	松岡 幹敏	研究室	1~2												
	542096	英米文学特論演習III	奥村 直史	研究室	1~2												
IV	543064B	社会学特論演習B	鈴木 健之	Y-13	1~2												
	544044	解析学特論演習II	厚芝 幸子	研究室	1~2												
	541056	幼児心理学特論演習	渡邉 菜奈美	研究室	1~2	542022A	国語学特論演習IA	長谷川千秋	研究室	1~2	546002	身体文化教育学研究II	中村 和彦	L138	1~2		
	541072	障害児心理学特論演習I	松下 清之	研究室	1~2	542097	英米文学特論IV	瀧田知香子	研究室	1~2							
V	542034A	古典文学特論演習IIA	池田 尚隆	J216	1~2	543048B	法学特論演習IB	石塚 迅	研究室	1~2							
	542921 G	課題研究1(英語教育)	田中 武夫	研究室	1~2	543056B	経済学特論演習IIB	宇多賢治郎	L226	1~2							
	542922 E	★課題研究2(英語教育)	田中 武夫	研究室	2	543072B	哲学特論演習IB	佐藤 一郎	L230	1~2							
	543921 C	★課題研究1(家政教育)	時友裕子	研究室	1~2	543102	被服学特論演習I	岡松 恵	L339	1~2							
VI	544084	課題研究1(数学教育)	青藤 如比古	L237	1~2	544056	理科教育特論演習II	佐藤 寛之	L313	1~2							
	544911 B	課題研究1(数学教育)	成瀬 弘	研究室	1~2	544112	電気・電子工学特論演習	小川 覚美	研究室	1~2							
	545102	美術理論・美術史特論演習	平野千枝子	研究室	1~2	544911 A	課題研究1(数学教育)	武藤 秀夫	研究室	1~2							
	546022	体育学特論演習	加藤 朋之	L130	1~2	545052B	音楽学特論演習B	戸原 友之	L529	1~2							
VII	541068	健康障害学特論演習	小畑 文也	研究室	1~2	541082	障害児心理学特論演習	島海 順子	L440	1~2	543050B	法学特論演習IIB	森元 拓	研究室	1~2		
	543922 C	★課題研究2(家政教育)	時友裕子	研究室	2	541901 H	課題研究1	尾見 康博	研究室	1~2	543911 I	課題研究1(社会科教育)	菅川 卓	研究室	1		
	544912 B	★課題研究2(数学教育)	成瀬 弘	研究室	2	541901 M	課題研究1	田中健史朗	研究室	1~2	544114	電子情報特論演習	山際 基	L258	1~2		
	545078	彫刻特論演習	武末 裕子	研究室	1~2	541902 C	★課題研究2	加藤 繁美	研究室	2							
VIII	545912 D	★課題研究2(音楽教育)	戸原 友之	L529	2	542036A	近代文学特論演習A	大木 志門	研究室	1~2							
	546912 F	★課題研究2(保健体育)	木島 章文	L138	2	542052A	中国語学特論演習A	町田 茂	J216	1~2							
						545911 D	課題研究1(音楽教育)	戸原 友之	L529	1~2							
						545911 E	課題研究1(音楽教育)	大内 邦博	L525	1~2							
IX	541044	情報教育特論演習	成田 雅博	J422	1~2	541902 G	課題研究1(美術教育)	武末 裕子	研究室	1~2	543122	家庭障害学特論演習	神山 久美	研究室	1~2		
	544024	代数学特論演習I	小池 健二	研究室	1~2	542012A	国語科教育学特論演習IA	藤原 知也	J323	1~2	545911 C	課題研究1(音楽教育)	藤原 嘉文	L528	1~2		
	546016	保健体育科教育学特論演習II	金沢 翔一	L138	1~2	544094	地球科学特論演習II	福地 龍郎	L232	1~2							
						545912 C	★課題研究2(音楽教育)	藤原 嘉文	研究室	2							

2017年度時間割表(後期)

★: 通年

曜日	木										金										科目名	担当教員	備考
	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象/7/3	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象/7/3	年次											
I	541901 L	課題研究1	高橋 英児	研究室	1~2	544042	解哲学特論演習I	中村 宗敬	研究室	1~2	2017年度【後期】 教育学研究科修士課程												
	544074	化学特論演習II	森長 久豊	研究室	1~2	545921 D	課題研究1(美術教育)	井坂健一郎	研究室	1~2													
II	541022	教育心理学特論演習	小野田亮介	L 4 2 3	1~2	541062	発達障害学特論演習	吉井 勲	研究室	1~2													
	541042	教育内容特論演習	高橋 英児	L 4 1 6	1~2	541901 J	課題研究1	成田 雅博	研究室	1~2													
	541074	障害児心理学特論演習II	小畑 文也	研究室	1~2	542014A	国語科教育学特論演習IIA	岩永 正史	J 3 2 3	1~2													
	543024B	外国史特論演習B	皆川 卓	L 3 2 2	1~2	542072	英語科教育学特論演習	田中 武夫	J 4 1 2	1~2													
	545062	美術科教育学特論演習I	栗田 真司	L 5 2 0	1~2	543022B	日本文学特論演習B	大隅 清隆	L 3 2 2	1~2													
	545072	絵画特論演習	井坂健一郎	L 5 1 4	1~2	543092	食物業特論演習	時友裕紀子	研究室	1~2													
	545911 F	課題研究1(音楽教育)	片野 耕喜	L 5 3 1	1~2	545014	音楽科教育学特論演習II	菅沼 研一	L 5 2 6	1~2													
III	541014	日本教育史特論演習	阿部 茂	L 4 1 6	1~2	545092	工芸特論演習	片野 耕喜	L B 1 4 4	1~2													
	541901 F	課題研究1	鳥海 順子	研究室	1~2	545912 E	★課題研究2(音楽教育)	井坂健一郎	研究室	2													
	542002	言語文化教育学研究II	古家 真雄	Y-1 4	1~2	545922 D	★課題研究2(美術教育)	井坂健一郎	研究室	2													
	542042A	漢文学特論演習A	上原 究一	J 4 1 1	1~2	544911 E	課題研究1(数学教育)	清水 宏幸	研究室	1~2													
	543082	家庭科教育学特論演習	志村 結美	研究室	1~2	545032B	声楽特論演習B	片野 耕喜	L 5 3 1	1~2													
	544101	技術科教育学特論	上里 正男	L B 2 5 3	1~2	546042	健康管理学特論演習	小山 勝弘	L 1 3 8	1~2													
	545024B	器楽特論演習I B	池山 洋子	L 5 3 0	1~2																		
545921 B	課題研究1(美術教育)	村松 俊夫	研究室	1~2																			
IV	541032	臨床心理学特論演習	田中健史朗	L 4 2 3	1~2	541901 I	課題研究1	阿部 茂	研究室	1~2													
	541064	知的発達障害学特論演習	廣瀬 信雄	研究室	1~2	541902 B	★課題研究2	平井貴美代	研究室	2													
	541901 Q	課題研究1	小野田亮介	研究室	1~2	543032B	地理学特論演習B	尾藤 章雄	L 2 2 6	1~2													
	544096	地球科学特論演習III	松本 潔	研究室	1~2	544912 E	★課題研究2(数学教育)	武藤 秀夫	研究室	2													
	545911 G	課題研究1(音楽教育)	小島 千か	L 5 3 2 - 2	1~2	545921 A	課題研究1(美術教育)	菅沼 研一	研究室	1~2													
	541901 B	課題研究1	平井貴美代	研究室	1~2	542062A	書写・普通特論演習A	宮澤 正明	J 5 1 4	1~2													
	541901 C	課題研究1	加藤 繁美	研究室	1~2	543911 E	課題研究1(社会科教育)	佐藤 一郎	L 2 3 0	1~2													
V	541901 D	課題研究1	小畑 文也	研究室	1~2	543911 F	課題研究1(社会科教育)	尾藤 章雄	研究室	1~2													
	541901 E	課題研究1	廣瀬 信雄	研究室	1~2	544072	化学特論演習I	佃 俊明	研究室	1~2													
	541901 N	課題研究1	古盛 義博	研究室	1~2	545921 C	課題研究1(美術教育)	栗田 真司	L 5 2 0	1~2													
	541902 E	★課題研究2	廣瀬 信雄	研究室	2	545922 C	★課題研究2(美術教育)	栗田 真司	L 5 2 0	2													
	541902 F	★課題研究2	鳥海 順子	研究室	2																		
	541902 G	★課題研究2	小畑 文也	研究室	2																		
	543014B	社会科教育学特論演習IIB	後藤寛次郎	L 2 2 6	1~2																		
VI	546911 F	課題研究1(保健体育)	木島 章文	L 1 3 0	1~2																		
	546912 D	★課題研究2(保健体育)	小山 勝弘	研究室	2																		
	546912 E	★課題研究2(保健体育)	中村 和彦	L 1 3 8	2																		
	542922 C	★課題研究2(英語教育)	古家 貴雄	J 4 1 2	2	542911 E	課題研究1(国語教育)	宮澤 正明	J 5 1 4	1~2													
	543912 H	★課題研究2(社会科教育)	大隅 清隆	研究室	2	542912 A	★課題研究2(国語教育)	池田 尚隆	研究室	2													
	544012	数学科教育学特論演習	清水 宏幸	J 1 1 6	1~2	542912 D	★課題研究2(国語教育)	岩永 正史	研究室	2													
	544064	物理学特論演習I	山下 和之	研究室	1~2	542912 E	★課題研究2(国語教育)	宮澤 正明	J 5 1 4	2													
544104	技術科教育学特論演習I	上里 正男	L B 2 5 3	1~2	543911 H	課題研究1(社会科教育)	大隅 清隆	研究室	1~2														
545082	デザイン特論演習	村松 俊夫	L 5 1 7	1~2	543912 F	★課題研究2(社会科教育)	尾藤 章雄	研究室	2														
	546911 E	課題研究1(保健体育)	中村 和彦	L 1 3 8	1~2																		

2017年度時間割表（前期）

教育学研究科教職大学院の課程

★：通年

曜日		月						火						水					
時間	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象775	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象775	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象775	年次	
I													550005	子ども援助の実践的課題	東海林麗香 ・他	N-22		1~2	
II													550203	学校・教員評価論	嶋川 明子 ・他	N-22		1~2	
III													550207	教育実践演習	篠島 紀人 ・他	N-22		1~2	
VI	550009	現代学説論	古家 貴雄 ・他	N-22		1~2	550208 A 550208 K 550208 L	教科教育特論 教科教育特論 教科教育特論	齋藤 知也 佐藤 寛之 服部 一秀	J 3 2 3 L 3 1 3 N-22	国語教育 理科教育 社会科学 教育	1~2 1~2 1~2							

2017年度時間割表（前期）

★：通年

木										金										集中講義										
曜日	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象/75	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象/75	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象/75	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象/75	年次						
I							550007	学校組織経営論	平井貴美代 ・他	N-22		1~2	550101	学校危機管理論	嶋川 明子 ・他	N-22		1~2	550101	学校危機管理論	嶋川 明子 ・他	N-22		1~2	550101	学校危機管理論	嶋川 明子 ・他	N-22		1~2
II							550001	キャリアウェアの見方考え方	服部 一秀 ・他	N-22		1~2	550204	理数学力評価論	清水 宏幸 ・他	N-22		1~2	550204	理数学力評価論	清水 宏幸 ・他	N-22		1~2	550204	理数学力評価論	清水 宏幸 ・他	N-22		1~2
III~IV							550003	授業研究マネジメント論	服部 一秀 ・他	N-22		1~2																		
							550901 B	課題研究I	() N-22			1																		
							550901 C	課題研究I	長瀬 慶来 N-22			1																		
							550901 D	課題研究I	() N-22			1																		
							550901 F	課題研究I	東海林麗香 N-22			1																		
							550901 G	課題研究I	嶋川 明子 N-22			1																		
							550901 H	課題研究I	小林 大 N-22			1																		
							550901 I	課題研究I	猪股 真弥 N-22			1																		
							550901 K	課題研究I	窪島 紀人 N-22			1																		
							550901 L	課題研究I	() N-22			1																		
							550901 M	課題研究I	服部 一秀 N-22			1																		
							550901 N	課題研究I	() N-22			1																		
							550903 B	★課題研究III	() N-22			2																		
							550903 C	★課題研究III	長瀬 慶来 N-22			2																		
							550903 D	★課題研究III	() N-22			2																		
							550903 F	★課題研究III	東海林麗香 N-22			2																		
							550903 G	★課題研究III	嶋川 明子 N-22			2																		
							550903 H	★課題研究III	小林 大 N-22			2																		
							550903 I	★課題研究III	猪股 真弥 N-22			2																		
							550903 K	★課題研究III	窪島 紀人 N-22			2																		
							550903 L	★課題研究III	() N-22			2																		
							550903 M	★課題研究III	服部 一秀 N-22			2																		
							550903 N	★課題研究III	() N-22			2																		
VI	550206	言語学習開発論	長瀬 慶来 J 4 2 2 ・他			1~2																								
	550208 G	教科教育特論	上里 正男 L B 2 5 栗田 真司 L 5 2 0 ・他			1~2																								
	550208 I	教科教育特論				1~2																								

2017年度時間割表（後期）

★：通年

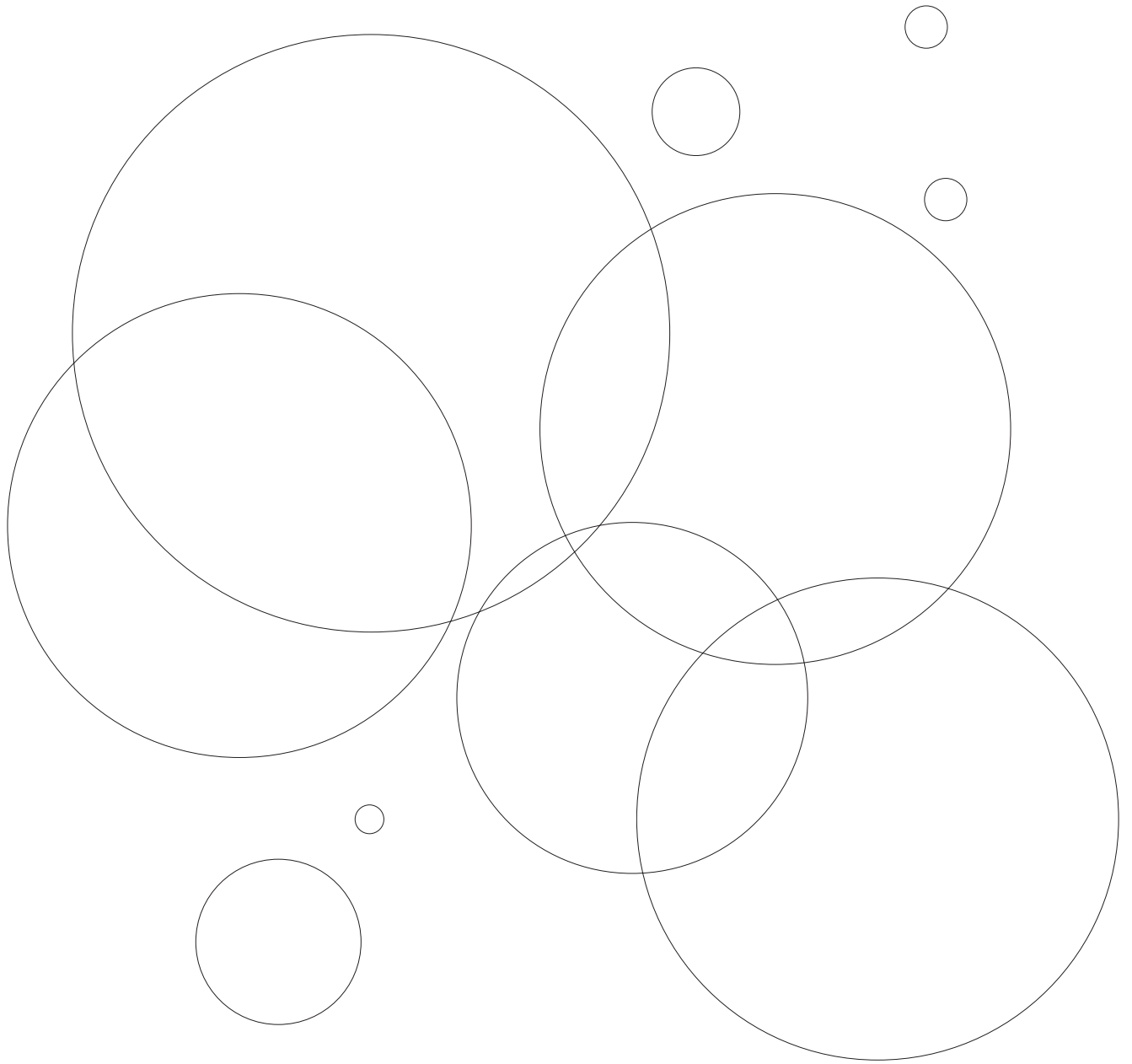
教育学研究科教職大学院の課程

曜日		月					火					水					
時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象クラス	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象クラス	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象クラス	年次
I												550205	理数学習教材開発論	清水 宏幸 ・他	N-22		1~2
II												550201	子どものエンパワースメント論	東海林麗香 ・他	N-22		1~2
VI	550010	現代教員論	吉冢 貴雄 ・他	N-22	1~2	550208 J 550210	教科教育特論 インクルーシブ教育特論	中村 和彦 廣瀬 信雄 ・他	研究室 L440	座 L440	1~2 1~2						

2017年度時間割表（後期）

★：通年

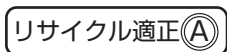
木										金										
曜日	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象クラス	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象クラス	年次	時間割番号	科目名	担当教員	教室	対象クラス	年次	備考	
I							550002	カリキュラムのマネジメント	長瀬 慶来 ・他	N-22		1~2								
II							550008	学校改善論	鴨川 明子 ・他	N-22		1~2								
III~IV-I							550004	授業創造の心理学	() N-22	N-22		1~2								
III~IV							550004	授業創造の心理学	東海林麗香	N-22		1~2								
							550902 B	課題研究II	() N-22	N-22		1								
							550902 C	課題研究II	長瀬 慶来	N-22		1								
							550902 D	課題研究II	() N-22	N-22		1								
							550902 F	課題研究II	東海林麗香	N-22		1								
							550902 G	課題研究II	鴨川 明子	N-22		1								
							550902 H	課題研究II	小林 大	N-22		1								
							550902 I	課題研究II	猪股 真弥	N-22		1								
							550902 K	課題研究II	窪島 紀人	N-22		1								
							550902 L	課題研究II	() N-22	N-22		1								
							550902 M	課題研究II	服部 一秀	N-22		1								
							550902 N	課題研究II	() N-22	N-22		1								
							550903 B	★ 課題研究III	() N-22	N-22		2								
							550903 C	★ 課題研究III	長瀬 慶来	N-22		2								
							550903 D	★ 課題研究III	() N-22	N-22		2								
							550903 F	★ 課題研究III	東海林麗香	N-22		2								
							550903 G	★ 課題研究III	鴨川 明子	N-22		2								
							550903 H	★ 課題研究III	小林 大	N-22		2								
							550903 I	★ 課題研究III	猪股 真弥	N-22		2								
							550903 K	★ 課題研究III	窪島 紀人	N-22		2								
							550903 L	★ 課題研究III	() N-22	N-22		2								
							550903 M	★ 課題研究III	服部 一秀	N-22		2								
							550903 N	★ 課題研究III	() N-22	N-22		2								
VI	550208 C	教科教育特論	古家 貴雄	Y-14	英語教育	1~2														
	550208 F	教科教育特論	志村 結美	研究室	憲政教育	1~2														
	550208 H	教科教育特論	小島 千か	L527	音楽教育	1~2														
	550211	教育実践フィールドワーク論	東海林麗香	N-22	音楽教育	1~2														



‘17 HAND BOOK

University of Yamanashi Graduate School of Education

学生便覧 大学院教育学研究科 平成29年度(2017)



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。